SONY

3-211-166-**05** (1)

Data Projector

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-CX100
VPL-CX120/CX125
VPL-CX150/CX155
VPL-CW125

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。

故障したら使用を中止する

すぐにお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

↓

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

はじめに

画像を映す

便利な使いかた

メニューで行う調整と設定

お手入れ

その他

お客様へ

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに交換をご相談ください。

付属の電源コードや接続ケーブルを使う

注意

取扱説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

容量の低い電源延長コードを使用しない

禁止

容量の低い延長コードを使うとショートしたり、火災や感電の原因となったりすることがあります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

アースキャップは幼児の手の届かないところへ保管する

注意

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

禁止

天井への取り付けは必ずお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下する危険があります。
必ずソニー推奨のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本機およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 30cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

レンズをのぞかない

禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

内部を開けない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

指定された部品を使用する

指示

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。ランプ、電池、フィルタは指定されたものを使用してください。

ランプカバーは手で押さえて取りはずす

指示

本機を天井に吊るしたまま作業する場合は、ネジをゆるめるときにランプカバーが落下しないよう手で押さえてください。カバーが落下すると、けがをしたり、周囲の物を破損したりする原因となります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

電源コード / 接続ケーブルに足をひっかけない

注意

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

水のある場所に置かない

水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

運搬するときは必ず左右側面を両手で持つ

指示

運搬するときは、必ず左右側面を両手で持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落してけがをすることがあります。
床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようご注意ください。

本機を立てて置かない

禁止

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

アジャスター調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

排気口周辺には触れない

高温

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

禁止

火災の原因となることがあります。

製品の上にものを載せない

禁止

製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

注意

ランプ交換に合わせて、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

・電池の液が目に入ったら

↓

すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

・煙が出たら

↓

お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

・電池の液が皮膚や衣服に付いたら

↓

すぐにきれいな水で洗い流す。

・バッテリー収納部内で液が漏れたら

↓

よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告

- ボタン型リチウム電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。万が一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて ⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、過熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした乾電池を使わない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

⚠注意

- 乾電池の外装のチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 投げつけない。
- 使用推奨期限内（リチウム電池に記載）の電池を使用する。

⚠警告

使用済みの電池は、取扱説明書または地域のルールに従って処分してください。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

⚠警告



下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う



電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから1時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

ランプ収納部に金属類や燃えやすい異物を入れない


火災


感電

ランプを取りはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

> ⚠注意 **下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。**

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する


注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**テクニカルインフォメーションセンターにランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

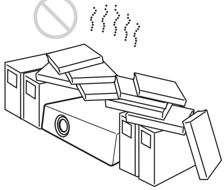
> **本機または使用済みランプを廃棄する場合**
>
> 本機のランプの中には水銀が含まれています。
> 廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

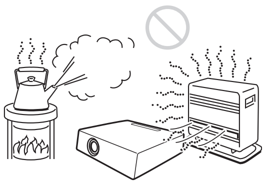
次のような場所には設置しないでください。本機の**故障や破損の原因**となります。

風通しが悪い場所



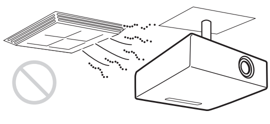
- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後にLAMPオフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から30cm以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所



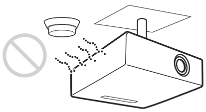
温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所



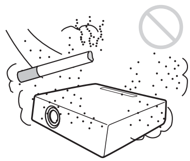
結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば



感知器が誤動作する原因となることがあります。

ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所



ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

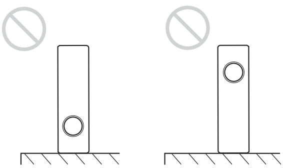
標高の高い場所で使用する場合

海抜1500m以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの高地モードを「入」にしてください。そのままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用に適さない状態

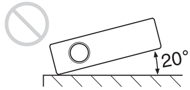
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用しない



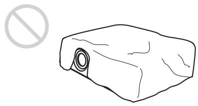
プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない



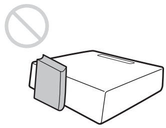
プロジェクターを20度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆わない



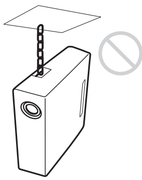
吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない



投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない



プロジェクターの側面にある盗難防止用バーには、市販の盗難防止ケーブルを取りつけるなど、盗難防止の目的で使用してください。この盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、落下や破損による事故の原因となります。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

プロジェクターの設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。
結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。
- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアーフィルターのお手入れについて

- 必ず定期的にエアーフィルターのクリーニングをしてください。
- クリーニング方法については、“エアーフィルターをクリーニングする”（57ページ）をご参照ください。

レンズ面のお手入れについて

レンズの表面は反射を抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- レンズ表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはレンズ表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。
ソニー推奨の電源コードセットをご使用下さい。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。使用済の電池は、説明書に従って処理してください。

付属の説明書について

本機は、以下の説明書とソフトウェアを付属しています。
Macintosh では、取扱説明書のみご覧いただけます。

説明書

安全のために（別冊）

本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。

簡易説明書（別冊）

本機を接続してから映すまでの、簡単な操作方法を説明しています。

取扱説明書（本書、CD-ROM に収録）

この説明書には本機の操作方法や接続のしかたが記載されています。

取扱説明書（ネットワーク編）（CD-ROM に収録）

ネットワークの設定と使用方法が記載されています。

ご注意

CD-ROM に収録されている取扱説明書などをご覧いただくには、コンピューターにソフトウェア Adobe Acrobat Reader 5.0 以上がインストールされている必要があります。

ソフトウェア（CD-ROM に収録）

Projector Station for Air Shot Version 2 （Version 2.xx）（日本語・英語のみ）

コンピューターの画像をプロジェクターへ転送するためのアプリケーションソフトウェアです。

この取扱説明書では、VPL-CX100、VPL-CX120、VPL-CX125、VPL-CX150、VPL-CX155、VPL-CW125 を一緒に説明しています。説明中の画面は主に VPL-CX155 を使用しておりますので、お買い上げいただきました機種によっては表示されない項目があります。あらかじめご了承ください。

本機の特長

高輝度・高画質

高輝度

ソニー独自の光学システムの採用により、高効率な光学システムを実現。VPL-CX150/CX155 で 3500 ルーメン、VPL-CX120/CX125/CW125 で 3000 ルーメン、VPL-CX100 で 2700 ルーメンの明るい映像を再現できます。

高画質

VPL-CX100/CX120/CX125/-CX150/CX155:
約 79 万画素の 0.79 インチ（20.1 mm）XGA 高開口パネルを 3 枚採用し、RGB 信号入力時には水平解像度 1024 ドット、垂直解像度 768 ドットを、ビデオ信号入力時には水平解像度 750TV 本を実現しました。

VPL-CW125:
約 109 万画素の 0.74 インチ（18.8 mm）WXGA 高開口パネルを 3 枚採用し、RGB 信号入力時には水平解像度 1366 ドット、垂直解像度 800 ドットを、ビデオ信号入力時には水平解像度 750TV 本を実現しました。

優れた設置性

床置き、天井つり、前後に傾けた設置にも対応

床置きフロント、天井つりに加え、本機を上方または下方に 90 度まで傾けての設置が可能です。

ダイレクトパワーオン / オフ機能

スタンバイ状態を経ずに、ブレーカーなどでシステム全体の AC 電源を直接入れたり切ったりすることが可能です。

容易なメンテナンス

ランプ交換は後面から、フィルター掃除は前面から行うため、天吊状態でも容易に対応できます。フィルター掃除は、ランプ交換と同時に行ってください。

ID 機能（VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）

同じ部屋で複数台のプロジェクターを使用する場合、1 台ずつの調整や制御を可能にします。(最大 3 台まで)

ネットワークによる状況監視、システム拡張（VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）

LAN の環境を取り込むことにより、離れたところから Web 経由で、オン / オフといった制御や本機のランプの使用時間などの情報取得が可能です。

サイドショット（VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）

サイドショット (水平台形歪み補正機能) を搭載。斜め横からも投射が可能で、設置場所の自由度が広がりました。

セキュリティ対応

セキュリティロック

電源オン時にパスワードの入力を要求し、入力がない場合は映像が投影されないようにすることが可能です。

パネルキーロック

本機の操作キーを全て無効にし、操作はリモートコマンダーのみに制限することが可能。いたずらや誤操作を防ぎます。

ネットワークプレゼンテーション（VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）

プロジェクターの NETWORK 端子（RJ-45）にネットワークのケーブルを接続することにより、有線 / 無線で LAN に接続しているコンピューターの画像をプロジェクターに投影することが可能です。詳しくは、取扱説明書（ネットワーク編）をご覧ください。

その他、便利な機能

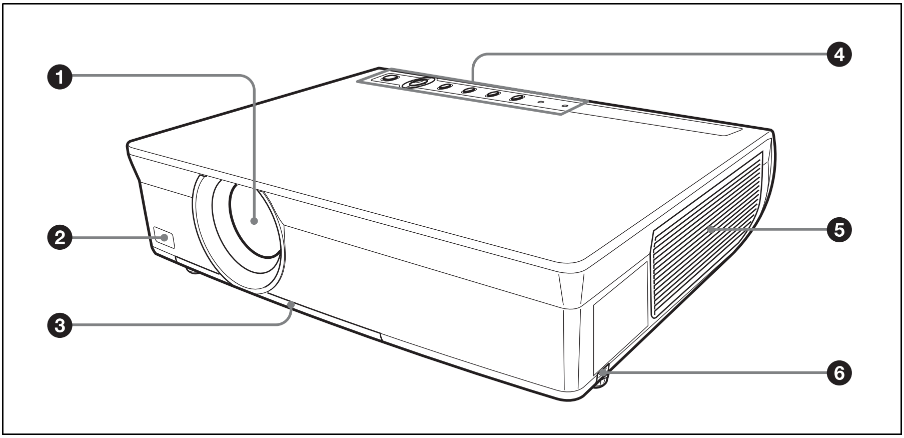
- プレゼンテーションを妨げない低ファンノイズ
- 15 言語に対応したオンスクリーンメニュー
- ピクチャー / オーディオミューティング
- フリーズ
- ランプモード切替
- スタンバイ時低消費電力
- 盗難防止用バー

商標について

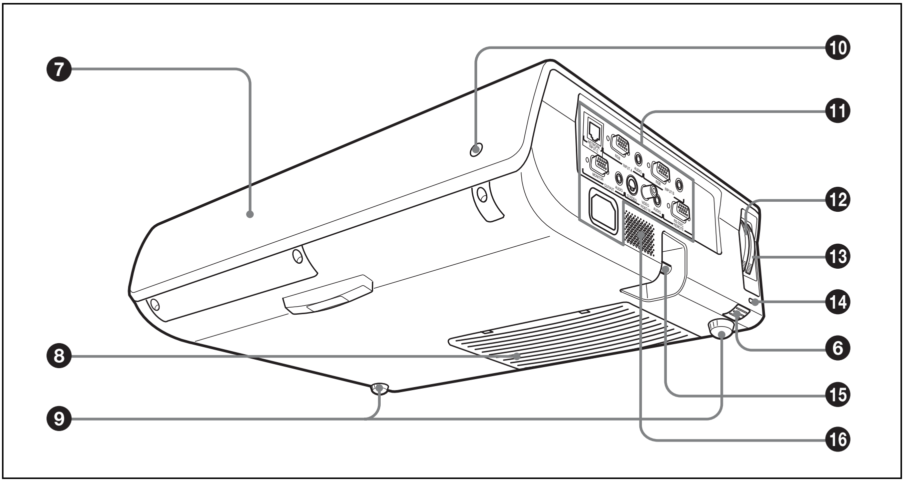
- Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
- Display Data Channel は Video Electronics Standards Association の商標です。
- Air Shot（エアーショット）はソニー株式会社の商標です。
- Side Shot（サイドショット）はソニー株式会社の商標です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

各部の名前と働き（本体）

天面／前面／側面



後面／側面／底面



❶ レンズ

投影する前にレンズキャップをはずしてください。

❷ 前面リモコン受光部

❸ エアーフィルターカバー

ご注意

本機の性能を保持するために、**ランプ交換と合わせて必ずエアーフィルターのクリーニングを行ってください。**

◆詳しくは、「エアーフィルターをクリーニングする」（57 ページ）をご覧ください。

❹ コントロールパネル／インジケーター

◆詳しくは、「コントロールパネル」（17 ページ）をご覧ください。

❺ 排気口

❻ アジャスター調整ボタン

◆詳しくは、「アジャスターの使いかた」（32 ページ）をご覧ください。

❼ ランプカバー

❽ 吸気口

❾ アジャスター

❿ 後部リモコン受光部

⓫ コネクター／コネクターパネル

◆詳しくは、「コネクターパネル」（18 ページ）をご覧ください。

⓬ ズームリング

画像の大きさ（ズーム）を調整します。

⓭ フォーカスリング

画像のフォーカスを調整します。

⓮ 盗難防止用ロック

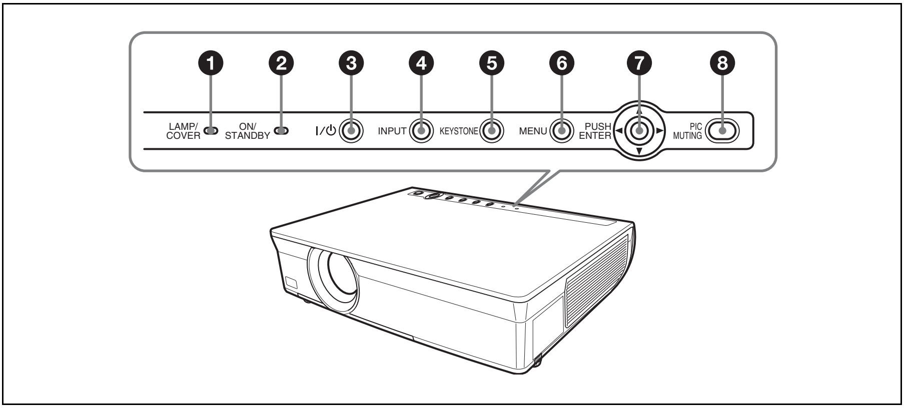
市販の盗難防止用ケーブル（Kensington 社製）などを取り付けることができます。
Kensington Web ページアドレス：
http://www.kensington.com/

⓯ 盗難防止用バー

市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。（出荷時はカバーが取付けられていますので、外してから使用してください。）
形状については「寸法図」（83 ページ）をご覧ください。

⓰ スピーカー

コントロールパネル



❶ LAMP（ランプ）／ COVER（カバー）インジケーター

以下の状態のとき、オレンジ色に点滅します。

2回点滅のくり返し：ランプカバーがはずれているとき、またはエアーフィルターカバーが正しく装着されていないとき。

3回点滅のくり返し：ランプの交換時期がきたとき、またはランプの温度が高いとき。

◆詳しくは、62 ページをご覧ください。

❷ ON/STANDBY（オン／スタンバイ）インジケーター

以下の状態のとき、点灯または点滅します。

赤色に点灯：電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I/⏻ キーで電源を入れることができます。

赤色に点滅：セット内部が高温、または故障したとき。

緑色に点灯：電源が入っているとき、操作可能な状態のとき。

緑色に点滅：本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、および I/⏻ キーで電源を切った後の約 60 秒間。

オレンジ色に点灯：パワーセービング中です。

◆詳しくは、62 ページをご覧ください。

❸ I/⏻（オン／スタンバイ）キー

本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、操作可能状態になるまでの間、ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅した後、点灯します。
電源を切るときは、画面の表示に従って、I/⏻ キーを 2 度押すか、約 1 秒間押したままにしてください。

❹ INPUT（入力選択）キー

入力信号を選びます。押すたびに信号が切り換わります。

❺ KEYSTONE （台形補正）キー

台形歪み補正を調整するときに使います。押すと、V キーストーン（垂直台形歪み補正）調整メニューが表示されます。▲/▼/◀/▶ キーを使って調整します。

VPL-CX125/CX155/CW125 の場合は、もう一度このボタンを押すと、SIDE SHOT（水平台形歪み補正）が調整できます。▲/▼/◀/▶ キーを使って調整します。

❻ MENU（メニュー）キー

メニューを画面に表示したいときに押します。もう 1 度押すとメニューは消えます。

❼ PUSH ENTER（確定）／▲/▼/◀/▶（矢印）キー

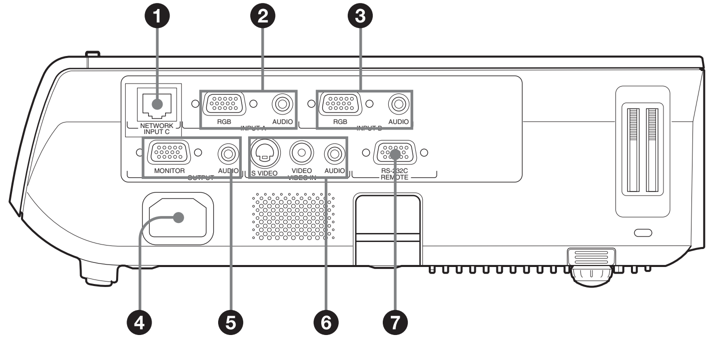
メニューの設定項目を確定するとき、メニューに表示されるカーソルを動かすとき、メニュー項目の数値を変えるときに使います。

❽ PIC MUTING（ピクチャーミューティング）キー

映像を一時的に消すときに押します。もう一度押すと、解除されます。

コネクターパネル

側面



❶ INPUT C（入力 C）（VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）

NETWORK 端子（RJ-45）

本機のネットワーク機能を使うとき、LAN ケーブルで接続します。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

❷ INPUT A（入力 A）

アナログ RGB 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）：
接続する機器に応じて、コンピューター信号、ビデオ GBR 信号、コンポーネント信号、DTV 信号を入力することができます。
接続する機器の出力端子に付属のケーブルまたは別売りのケーブルで接続します。

◆詳しくは、「コンピューターを接続する」（27 ページ）、「ビデオ機器を接続する」（28 ページ）をご覧ください。

AUDIO（音声）端子（ステレオミニジャック）：
コンピューターからの音声を聞くときは、コンピューターの音声出力端子と接続します。

◆詳しくは、「コンピューターを接続する」（27 ページ）、「ビデオ機器を接続する」（28 ページ）をご覧ください。

❸ INPUT B （入力 B）

アナログ RGB 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）：
コンピューターの映像を入力します。
コンピューターのモニター出力端子に付属のケーブルまたは別売りのケーブルで接続します。

AUDIO（音声）端子（ステレオミニジャック）：
コンピューターからの音声を聞くときは、コンピューターの音声出力端子と接続します。

❹ AC IN（電源コンセント）

付属の電源コードを接続します。

❺ OUTPUT（出力）

MONITOR（モニター）端子（HD D-sub 15 ピン、凹）：
モニターの入力端子に接続します。
INPUT A または INPUT B 端子に接続された信号のうち、現在選ばれているチャンネルでかつコンピューター信号のみを出力します。

AUDIO（音声）端子（ステレオミニジャック）：
アクティブスピーカーに接続します。リモートコマンダーの VOLUME ＋ / －キーで音量を調整できます。
INPUT A または B が選ばれているときは、INPUT A または B の AUDIO 端子に入力された音声が出力されます。
VIDEO または S VIDEO が選ばれているときは、VIDEO IN の AUDIO 入力端子に入力された音声が出力されます。

❻ VIDEO IN（ビデオ入力）

ビデオ機器などの映像／音声を入力します。

S VIDEO （S 映像）端子（ミニ DIN4 ピン）：
ビデオ機器などの S 映像出力端子と接続します。

VIDEO（映像）端子（ピンジャック）：
ビデオ機器などの映像出力端子と接続します。

AUDIO（音声）端子（ステレオミニジャック）:

ビデオ機器などの音声を聞くとき、ビデオ機器などの音声出力端子と接続します。

❼ **REMOTE**

RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）

コンピューターから本機を操作するときに、コンピューターのコントロール用の端子と接続します。

リモートコマンダーについて

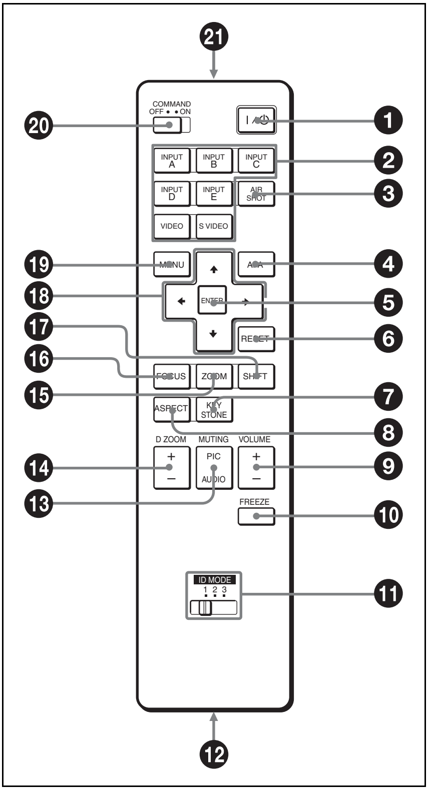
付属のリモートコマンダーは機種によりことなります。
機種に合わせて、それぞれの説明のページをご覧ください。

VPL-CX125/CX155/CW125:
20 ページへ

VPL-CX100/CX120/CX150:
23 ページへ

VPL-CX125/CX155/CW125

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。



❶ I/⏻（オン／スタンバイ）キー

❷ INPUT（入力選択）A/B/C/D/E キー

ボタン名と同じ名前の端子に接続した機器の映像を選択するとき使います。
本機では、INPUT D キーと INPUT E キーは使用しません。

❸ AIR SHOT（エアーショット）キー

ネットワークプレゼンテーションのホーム画面を表示します。

◆詳しくは、CD-ROM 内の「取扱説明書（ネットワーク編）」をご覧ください。

❹ APA（Auto Pixel Alignment）キー

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。

◆詳しくは、機能設定メニューの「スマート APA」（46 ページ）をご覧ください。

❺ ENTER（確定）キー

❻ RESET（リセット）キー

メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき、D ZOOM した画像を一度で元の大きさに戻すとき使います。
メニュー画面、または項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

❼ KEYSTONE （台形補正）キー

❽ ASPECT（アスペクト）キー

投影する画面のアスペクト（縦横比）を選びます。
押すたびに、映像入力信号に合わせてアスペクト設定が切り換わります。

❾ VOLUME（音量）+ / −キー

❿ FREEZE （フリーズ）キー

投影している画面を静止させます。
解除するには、もう 1 度押します。
PC 信号時のみ有効です。

⓫ ID MODE 1/2/3 (ID モード 1、2、3) キー

複数台のプロジェクターを使用する場合、リモートコマンダーとプロジェクターに同じ ID 番号をつけておくと、リモートコマンダーから各プロジェクターの調整や制御を可能にします。

◆「ID モード」について詳しくは、50 ページをご覧ください。

⓬ CONTROL S OUT（コントロール S 出力）端子（ステレオミニジャック）

本機では使用しません。

⓭ MUTING（ミューティング）キー

映像や音声を一時的に消すときに使います。

PIC（映像）：映像を一時的に消すときに押します。もう一度押すと、解除されます。

AUDIO（音声）：スピーカーから出力される音声と OUTPUT の AUDIO 端子からの出力信号を一時的に消すときに押します。

解除するには、もう一度押すか、VOLUME ＋キーを押して音量を上げてください。

⓮ **D ZOOM（デジタルズーム）＋ / −キー**

画面上の希望の位置を拡大することができます。
PC 信号時のみ有効です。

⓯ **ZOOM（ズーム）キー**

本機では使用しません。

⓰ **FOCUS（フォーカス）キー**

本機では使用しません。

⓱ **SHIFT（シフト）キー**

本機では使用しません。

⓲ **⬆/⬇/⬅/➡（矢印）キー**

本体のコントロールパネルにある▲/▼/◀/▶と同じです。

⓳ **MENU（メニュー）キー**

⓴ **COMMAND ON/OFF（コマンダー入／切）スイッチ**

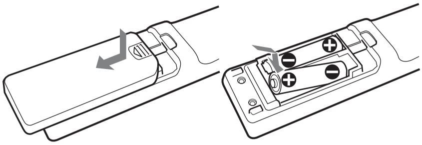
このスイッチを OFF にすると、リモートコマンダーのキーがすべて働かなくなります。使わないときに OFF にしておくと、電池の消耗を防ぐことができます。

㉑ **リモートコマンダー発光部**

電池の入れかた

1 ふたをはずし、⊕ と ⊖ の方向を確認して単 3 形（R6）乾電池 2 個（付属）を入れる。

上から押してスライドさせる。　必ず ⊖ 極側から電池を入れてください。



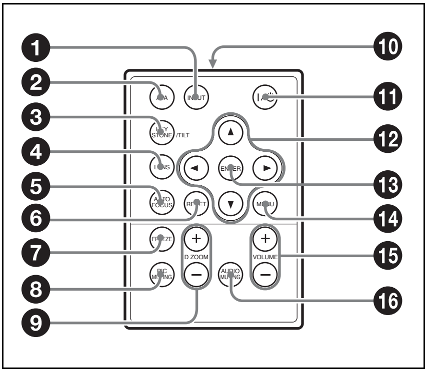
2 ふたを閉める。

リモートコマンダーのご注意

- リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがありますので、本機の前後にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダーを操作してください。
- リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

VPL-CX100/CX120/CX150

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。



❶ INPUT（入力選択）キー

❷ APA（Auto Pixel Alignment）キー

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。

◆詳しくは、機能設定メニューの「スマート APA」（46 ページ）をご覧ください。

❸ KEYSTONE（台形補正）キー

❹ LENS（レンズ）キー

本機では使用しません。

❺ AUTO FOCUS（オートフォーカス）キー

本機では使用しません。

❻ RESET（リセット）キー

メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき、D ZOOM した画像を一度で元の大きさに戻すとき使います。
メニュー画面、または項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

❼ FREEZE（フリーズ）キー

投影している画面を静止させます。解除するには、もう 1 度押します。PC 信号時のみ有効です。

❽ PIC MUTING（ピクチャーミューティング）キー

❾ D ZOOM（デジタルズーム）＋/－キー

画面上の希望の位置を拡大することができます。

❿ リモートコマンダー発光部

⓫ I/⏻（オン / スタンバイ）キー

⓬ ▲/▼/◀/▶（矢印）キー

⓭ ENTER（確定）キー

⓮ MENU（メニュー）キー

⓯ VOLUME（音量）＋／－キー

⓰ AUDIO MUTING（オーディオミューティング）キー

スピーカーから出力される音声と OUTPUT の AUDIO 端子からの出力信号を一時的に消すとき押します。
解除するには、もう一度押すか、VOLUME ＋キーを押して音量を上げてください。

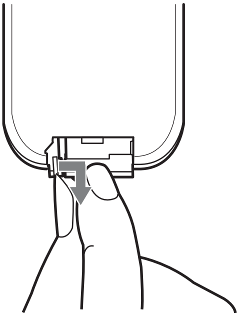
リモートコマンダーを使用する前に

電池部の透明フィルムを引き抜いてください。

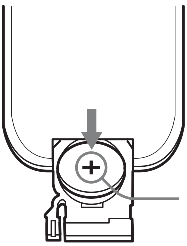
リチウム電池の入れかた

1 リチウム電池入れを引き出す。

つまんでロックをはずしながら手前に引いてください。



2 リチウム電池をはめ込む。



3 リチウム電池入れを差し込む。

リチウム電池についてのご注意

・リモートコマンダーには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が使用されています。CR2025 以外の電池を使用しないでください。

・ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、リモートコマンダーおよび電池は幼児の手の届かないところに置いてください。

・万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

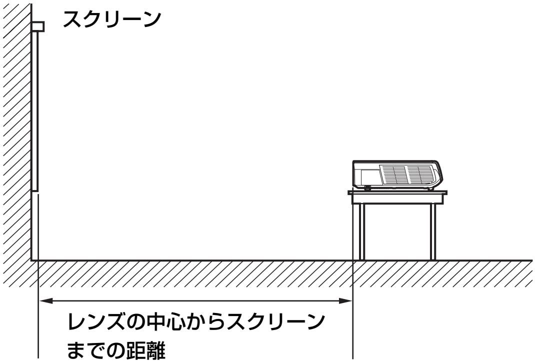
リモートコマンダーのご注意

・リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがありますので、本機の前後にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダーを操作してください。

・リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど操作が可能な角度が広がります。

設置する

レンズの中心からスクリーンまでの距離は投影画面サイズによって変わります。
下の表の最小距離と最大距離の範囲で設置してください。



VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155

(XGA 入力時)　　単位：m

投影画面サイズ（対角）（型）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
（mm）		1016	1524	2032	2540	3048	3810	4572	5080	6350	7620
距離	最小	1.2	1.8	2.4	3.0	3.6	4.5	5.4	6.0	7.5	9.1
	最大	1.4	2.1	2.8	3.5	4.1	5.2	6.2	6.9	8.7	10.4

（設計値のため多少の誤差があります。）

VPL-CW125
（信号設定メニューの「アスペクト」が「フル 2」のとき）

単位：m

投影画面サイズ（対角）（型）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
（mm）		1016	1524	2032	2540	3048	3810	4572	5080	6350	7620
距離	最小	1.3	1.9	2.6	3.2	3.9	4.9	5.9	6.5	8.1	9.8
	最大	1.5	2.2	3.0	3.7	4.5	5.6	6.7	7.5	9.4	11.3

（設計値のため多少の誤差があります。）

ご注意（VPL-CW125 のみ）

・信号設定メニューのアスペクトが「フル 2」以外に設定されている場合、上下または左右に黒枠が表示されます。
・信号設定メニューのアスペクトが「4：3」に設定されている場合、投影される画面サイズ（対角）は「フル 2」の場合に比べて約 84% となります。
・信号設定メニューのアスペクトが「16:9」に設定されている場合、投影される画面サイズ（対角）は「フル 2」の場合に比べて約 99% となります。

◆設置方法など詳しくは、「設置寸法」（72 ページ）をご覧ください。

接続する

接続するときは

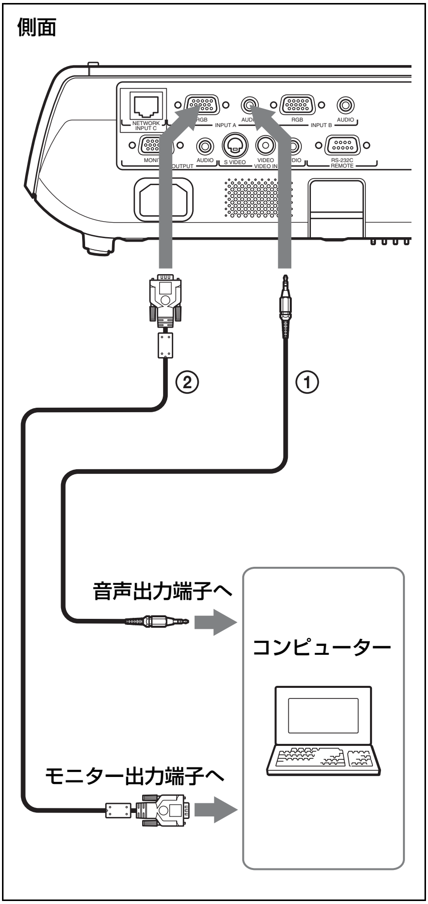
・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画像の乱れや雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

◆VPL-CX125/CX155/CW125 の NETWORK 端子にネットワークケーブルを接続して LAN に接続する場合は、CD-ROM 内の「取扱説明書（ネットワーク編）」をご覧ください。

コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューターを接続する場合



① ステレオオーディオ接続ケーブル（別売）
（抵抗なしのものをお使いください。）
② HD D-sub 15 ピンケーブル

ご注意

・本機は、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+ 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号を VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155 の場合は XGA に、VPL-CW125 の場合は WXGA に設定することをおすすめします。
・ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

◆詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

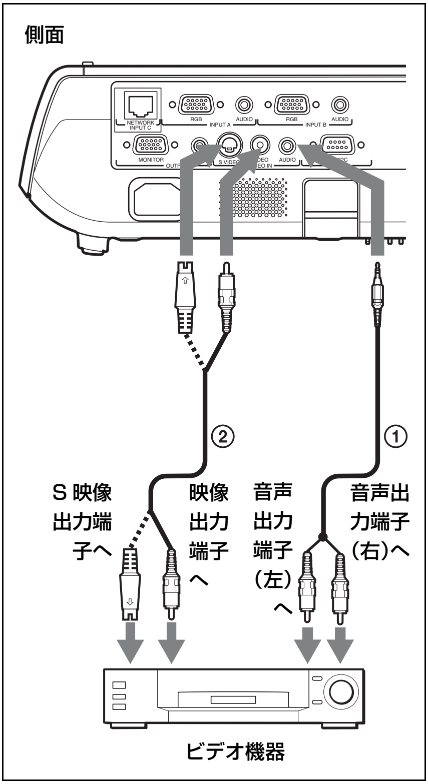
ご注意

Macintosh で出力端子のピン配列が 2 列タイプのものを接続する場合は、市販のアダプターをご使用ください。

ビデオ機器を接続する

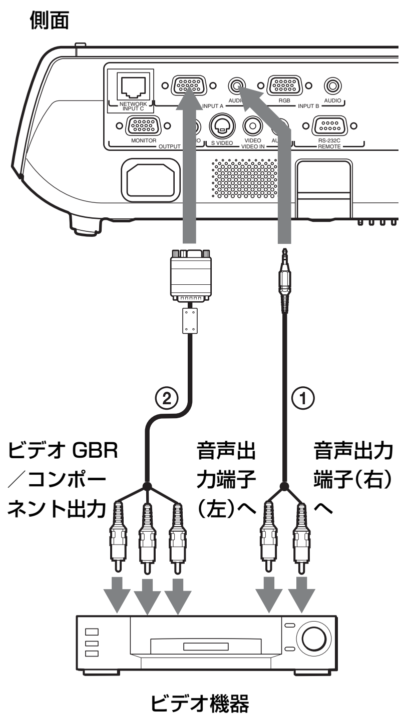
ここではビデオ機器を本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

映像出力、S 映像出力端子に接続する場合



① ステレオオーディオ接続ケーブル（別売り）（抵抗なしのものをお使いください）
② ビデオ接続ケーブル（別売り）または S ビデオ接続ケーブル（別売り）

ビデオ GBR ／コンポーネントの出力端子に接続する場合

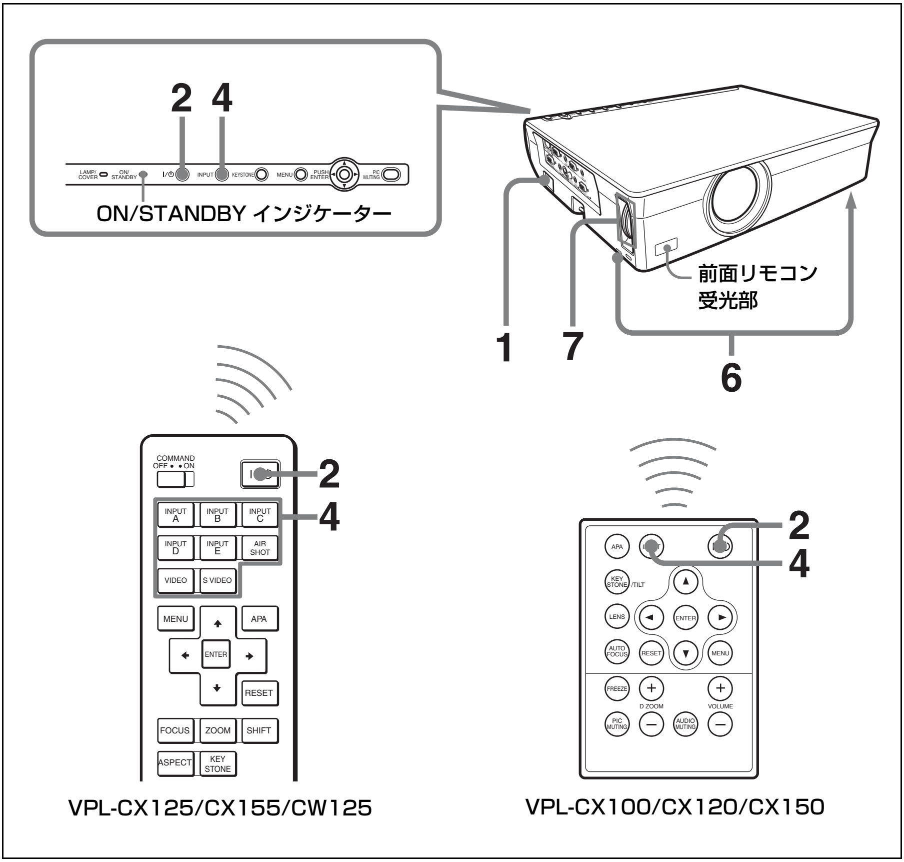


① ステレオオーディオ接続ケーブル（別売り）（抵抗なしのものをお使いください。）
② シグナルケーブル（別売り）HD D-sub 15 ピン（凸）←→ 3 ×ピンジャック

ご注意

・入力する信号に応じて、信号設定メニューの「アスペクト」を設定してください。
・ビデオ GBR の出力端子に接続する場合は初期設定メニューの「入力 A 信号種別」をビデオ GBR に、15k コンポーネントの出力端子に接続する場合はコンポーネントに切り換えてください。

スクリーンに画像を映す



1　電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をする。

ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2　I/⏻ キーを押して、電源を入れる。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅した後、点灯します。

3　接続した機器の電源を入れる。

4　投影する映像を選ぶ。

VPL-CX125/CX155/CW125 のリモートコマンダーで操作するとき：

リモートコマンダーの INPUT A/B/C キー AIR SHOT、VIDEO または S VIDEO キーのいずれかを押すと、ダイレクトに投影する映像を選べます。

本体のコントロールパネル、またはVPL-CX100/CX120/CX150のリモートコマンダーで操作するとき：

INPUTキーを押すたびに映像が次のように切り換わります。

入力A → 入力B → 入力C* → ビデオ → Sビデオ → 入力A

＊ VPL-CX125/CX155/CW125のみ

投影する映像	画面の表示
コンピューター、コンポーネント、ビデオGBR（入力A端子につないだ機器の映像）	入力A
コンピューター（入力B端子につないだ機器の映像）	入力B
コンピューター（ネットワークプレゼンテーション機能を使用するためにLANに接続した機器の映像）	入力C（VPL-CX125/CX155/CW125のみ）
ビデオ機器（VIDEO端子につないだ機器の映像）	ビデオ
ビデオ機器（S VIDEO端子につないだ機器の映像）	Sビデオ

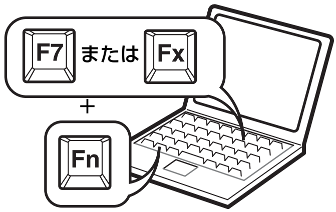
ご注意

・オート入力サーチが「入」に設定されていると、接続されている機器の信号を自動的にサーチし、入力信号のあるチャンネルを表示します。
・VPL-CX125/CX155/CW125は、入力信号がない場合は「入力C」が選ばれた状態になります。

◆詳しくは、機能設定メニューの「オート入力サーチ」（46ページ）をご覧ください。

5 接続した機器の映像信号の出力先を切り換える。

ノートタイプやモニター一体型のコンピューターを接続したときには、キー（LCD/VGA、 / など）や設定によって映像信号の出力先を切り換える必要のあるものがあります。



ご注意

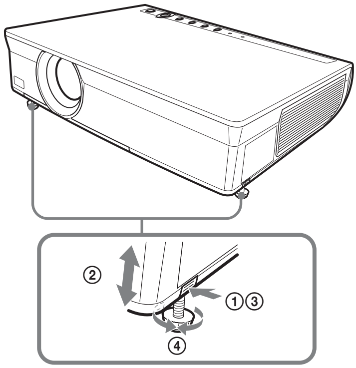
コンピューターの種類によって、切り換えのキーが異なります。

6 画像の上下の位置を調整する。

アジャスターを使って、プロジェクターの傾きを調整します。

アジャスターの使いかた

①アジャスター調整ボタンを押す。
②プロジェクターを持ち上げて角度を調整する。
③アジャスター調整ボタンをはなす。
④微調整が必要な場合は、アジャスターを左右に回して調整する。



ご注意

・アジャスターで高さを調整すると、V キーストーン補正が自動的に働きます。オートキーストーン補正を実行しない場合は、設置設定メニューの V キーストーンを「マニュアル」に設定します。（49 ページ参照）
・V キーストーンをオートに設定すると、V キーストーン補正は自動的に調整されますが、室温やスクリーンの傾きなどにより適正な補正が得られない場合があります。この場合は、マニュアルで調整を行います。KEYSTONE キーを押して、画面に「V キーストーン」を表示させ、▲/▼/◀/▶ キーで値を調整してください。
・アジャスターを調整するときは、手をはさまないようにしてください。
・アジャスターを出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

7 画像の大きさとフォーカスを調整する。

ズームリングで画像の大きさ、
フォーカスリングでフォーカスを調整します。

電源を切る

1 I/⏻ キーを押す。

「パワーオフしますか？もう一度 I/⏻ キーを押してください。」というメッセージが表示されます。

ご注意

確認のメッセージは I/⏻ キー以外のキーを押すか、5 秒間何もキーを押さないと消えます。

2 I/⏻ キーをもう一度押す。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。この間は再び I/⏻ キーを押しても、ランプは点灯しません。

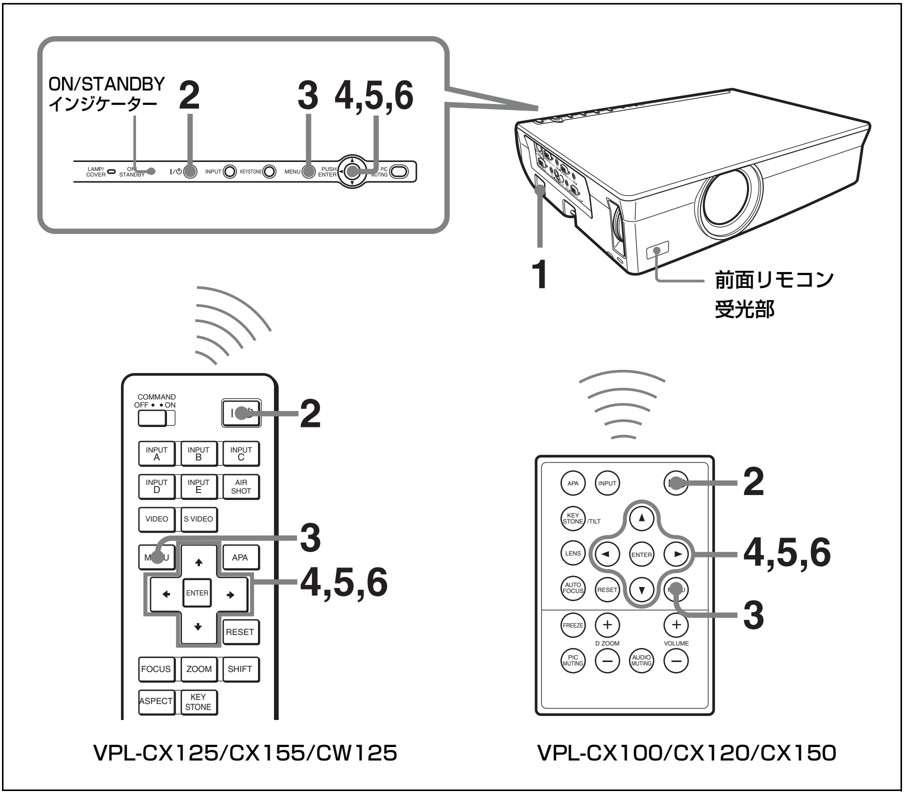
3 ファンが止まり、ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。（ダイレクトパワーオン／オフ機能使用時を除く）

画面のメッセージを確認できない場合は

状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順 **1**、**2** の操作の代わりに I/⏻ キーを約 1 秒押したままにしても電源を切ることができます。

メニュー表示言語を切り換える

メニュー画面やメッセージの表示言語を 15 言語の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「English」(英語)に設定されています。表示言語を変更したいときは、以下の手順で変更します。



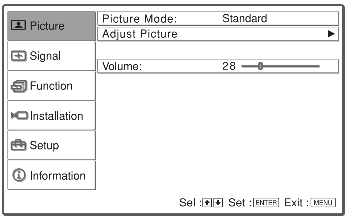
1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 I/⏻ キーを押して、電源を入れる。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅した後、点灯します。

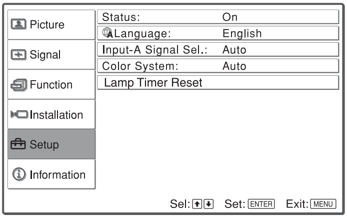
3 MENU キーを押す。

メニュー選択画面が表示されます。現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。

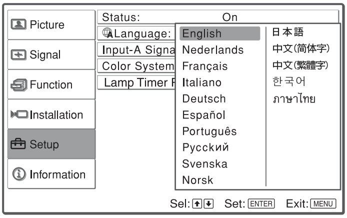


4 ▲または▼キーを押して Setup（初期設定）メニューを選び、▶または ENTER キーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。



5 ▲または▼キーを押して「Language」（表示言語）を選び、▶または ENTER キーを押す。



6 ▲、▶、◀、▼キーを押して表示させたい言語を選び、ENTER キーを押す。

画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENU キーを押す。

約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

セキュリティロック

本機は、セキュリティロック機能を搭載しています。電源を入れると事前に設定してあるパスワードの入力を要求し、正しいパスワードを入力しないと映像を投影できません。

ご注意

- セキュリティロックを有効にした場合、電源コードを抜き差しした後で電源を入れた時にのみパスワードの入力が求められます。
- パスワードを忘れてしまったり、パスワード管理者が不在の場合、本機を使用することができなくなります。この機能をご使用の場合はあらかじめ以上のことをご承知のうえお使いください。

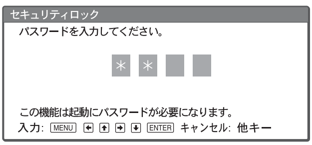
セキュリティロックをかけるには

1 MENU キーを押して機能設定メニューの「セキュリティロック」を「入」にする。

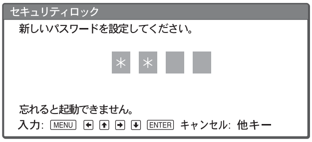
2 パスワードを入力する。

MENU、▲/▼/◀/▶、ENTER の 6 つのキーを使用して 4 桁のパスワードを入力してください。

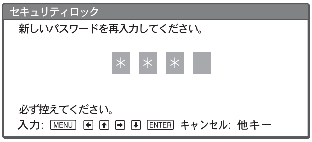
（出荷時には“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されていますので、初回使用時には ENTER を 4 回入力してください。）



次に新しいパスワードの入力画面が表示されます。
（現在のパスワードと同じで良い場合でも、ここで入力してください。）
パスワードを入力画面に入れる。



3 確認のためもう一度パスワードを入力する。



「セキュリティロックが有効になりました」というメッセージが表示されたら完了です。

「パスワードが違います！」というメッセージがメニュー画面に表示された場合は、手順 **1** からやり直してください。

4 設定完了後に本機の電源を切り、電源コードを抜き設定を有効にする。

セキュリティロックが有効となり、次に電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。

セキュリティ認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定されているパスワードを入力してください。パスワードの入力に３回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合、**I/⏻** キーを押し、電源を切ってください。

セキュリティロックを解除するには

1 MENU キーを押して機能設定メニューの「セキュリティロック」を「切」にする。

2 パスワードを入力する。

設定してあるパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れてしまったためテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせをするときは、シリアル番号とお客様の確認が必要になります（国／地域によって異なります）。お客様の確認ができるとパスワードをご案内致します。

その他の機能

ダイレクトパワーオン／オフ機能

ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合はダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。スタンバイ状態を経ずに電源のオン／オフができます。

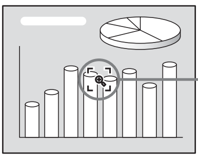
プレゼンテーション機能

画面を拡大する（デジタルズーム機能）

画面上の希望の位置を拡大できます。
この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。
ビデオ信号を入力しているときは働きません。

1 通常の画面を映し、リモートコマンダーのD ZOOM ＋キーを押す。

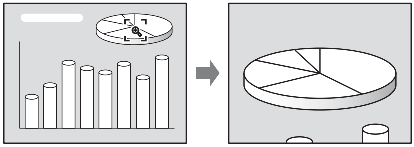
画面中央にデジタルズームのアイコンが表示されます。



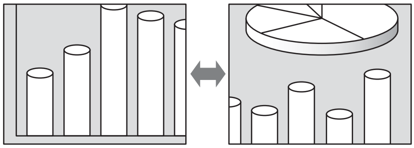
2 ▲/▼/◀/▶ キーを使って、拡大したい位置にアイコンを移動する。

3 もう一度D ZOOM ＋キーを押す。

アイコンのある位置を中心に画像が拡大され、拡大率が数秒間画面に表示されます。＋キーを押すごとに拡大率が上がります（最大4倍）。



また、この状態で ▲/▼/◀/▶ キーを押すと、拡大されたまま画像の位置が移動します。



拡大した画像を元の大きさに戻すには

D ZOOM －キーを押します。一度で元の大きさに戻すには、リモートコマンダーのRESET キーを押します。

投影している画面を静止させる（フリーズ機能）

リモートコマンダーのFREEZE キーを押すと、投影している画面を静止させて表示することができます。キーが押されると、画面に「フリーズ」と表示されます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。
元の画面に戻すには、FREEZE キーをもう一度押します。

便利な使いかた

コンピューターを別売のプレゼンテーションツール、RM-PJPK1から操作する（ネットワークプレゼンテーション機能使用時）（VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）

ネットワークプレゼンテーション機能を使用して、コンピューターの画面をプロジェクターへ投射している場合、別売のアクセサリーのプレゼンテーションツールから一部のスライドショー操作が可能です。

キー	機能
LASER*	レーザーを発光
⇦ SLIDE ⇨	スライドショーのページ送り／戻し
B	スライドショー時、黒画面の表示／解除

* ネットワークプレゼンテーション機能を使用していない場合でも使用可能。

ご注意

- ・プレゼンテーションツールと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。
- ・ご使用になるパソコンの OS の言語によっては、B キーを押しても黒画面にならないことがあります。
- ・プレゼンテーションツールを使うには、設置設定メニューの「ID モード」を「オール」または「1」に設定してください。

メニューの操作方法

本機では、入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。選んだ調整／設定項目によって、ポップアップメニューで表示されるもの、メニュー画面を消して設定メニューや調整メニューで表示されるもの、次の階層に表示されるものがあります。項目名の後ろに矢印（▶）が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定できる項目が表示されます。

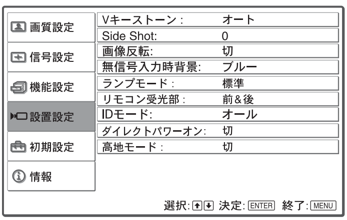
◆表示言語を切り換えるには、「メニュー表示言語を切り換える」（34 ページ）をご覧ください。

画面に表示される項目について

この取扱説明書では、VPL-CX100、VPL-CX120、VPL-CX125、VPL-CX150、VPL-CX155、VPL-CW125 を一緒に説明しています。説明中の画面は主に VPL-CX155 を使用しておりますので、お買い上げいただきました機種によっては表示されない項目があります。あらかじめご了承ください。

1 MENU キーを押す。

メニュー画面が表示されます。



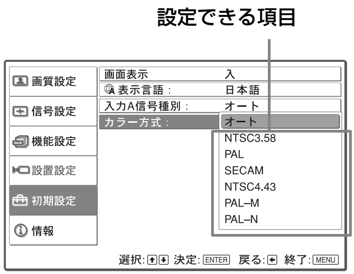
2 ▲または▼キーを押してメニュー項目を選び、▶または ENTER キーを押す。

調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目が黄色で表示されます。

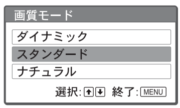
3 ▲または▼キーを押して設定したい項目を選び、▶または ENTER キーを押す。

設定できる項目が、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニュー、または次の階層に表示されます。

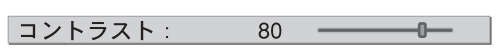
ポップアップメニュー



設定メニュー

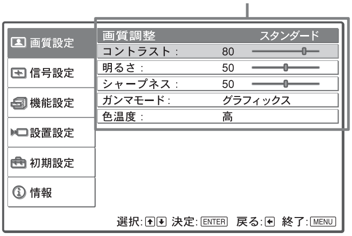


調整メニュー



次の階層に表示される画面

設定できる項目



4　調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、▲または▶キーを押す。
数値を小さくするときは、▼または◀キーを押す。
ENTERキーを押すと設定が確定し元の画面に戻ります。

設定を選ぶ項目の場合：

▲または▼キーを押して設定を選ぶ。
◀またはENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

メニュー画面を消す

MENUキーを押す。
約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

リセットしたい設定値を選択して、リモートコマンダーのRESETキーを押す。
「終了しました！」というメッセージが表示され、画面に表示中の**設定値が工場出荷時の値に戻ります。**
リセットできる項目は以下のとおりです。

- 画質設定メニューにある「画質調整 ...」の「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」と「シャープネス」
- 信号設定メニューにある「入力信号調整 ...」の「ドットフェーズ」、「水平サイズ」と「シフト」
- 設置設定メニューにある「Side Shot」（VPL-CX125/CX155/CW125のみ）

設定値の記憶について

設定値はENTERキーを押すと本体に記憶されます。

ご注意

ランプタイマー設定のリセット項目は記憶されません。

入力信号がない場合

入力信号がない場合は、「この項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。

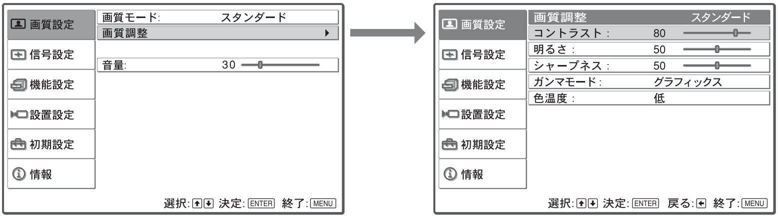
調整できない項目について

入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

◆詳しくは、54ページをご覧ください。

画質設定メニュー

画質や音量を調整するメニューです。



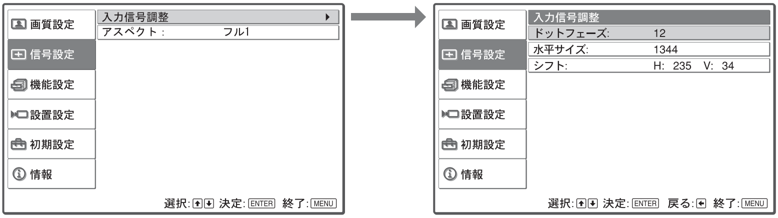
設定項目	機能	初期設定値
画質モード	画質モードを選びます。 ・**ダイナミック：**明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。 ・**スタンダード：**通常はスタンダードに設定されています。また、「ダイナミック」で画質にザラツキ感があるとき、ざらつきを抑えた画質になります。 ・**ナチュラル：**入力する映像により近い色の画像になります。	スタンダード

設定項目		機能	初期設定値
画質調整 …		下記の項目は、「画質モード」（「ダイナミック」、「スタンダード」、「ナチュラル」）ごとに設定値が記憶されます。	
	コントラスト	コントラストを調整します。	80
	明るさ	明るさを調整します。	50
	色の濃さ	色の濃さを調整します。	50
	色あい	色あいを調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。	50
	シャープネス	シャープネスを調整します。設定値が大きくなると映像がくっきりし、小さくなると映像が柔らかくなります。	50
	ガンマモード	ガンマ補正曲線を選びます。 ・**グラフィックス：**中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。 ・**テキスト：**白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。	グラフィックス
	色温度	画像に合わせて好みの色温度を選びます。 **コンピューター信号時** ・**高：**白い部分を青みがかった白にします。 ・**中：**白い部分を赤みがかった白にします。 ・**低：**白い部分を緑がかった白にします。 **ビデオ信号時** ・**高：**白い部分が青みがかった冷たい色調にします。 ・**中：**白い部分が自然な色調にします。 ・**低：**白い部分が赤みがかった暖かい色調にします。	低
音量		音量を調節します。	30

信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。

入力信号調整画面（コンピューター信号を入力しているとき）



設定項目	機能	初期設定値
入力信号調整 ...		
ドットフェーズ	LCD パネルとコンピューターから出力される信号の位相を調整します。APA キーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。	入力信号による
水平サイズ	コンピューターから出力される信号の画像の水平方向の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせてください。 詳しくは、「プリセット信号一覧」（70 ページ）をご覧ください。	入力信号による
シフト	画像の位置を調整します。 H で水平方向の位置を、V で垂直方向の位置を調整します。 H の設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 V の設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。 ◀または▶キーで水平方向の位置を、▲または▼キーで垂直方向の位置を設定します。	入力信号による

設定項目	機能	初期設定値
アスペクト （ビデオ信号入力時）	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。ビデオ信号入力時（メモリーナンバー 1 ～ 11）の場合のみ設定可能です。 · **フル 2：**オリジナル映像を画面いっぱいに映します。 · **4：3：**4：3 の映像を入力しているときに選びます。 · **16：9：**スクイーズの映像を入力しているときに選びます。	入力信号による
アスペクト （PC 信号入力時）	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。PC 信号入力時のみ（メモリーナンバー 21 ～ 63）設定可能です。 · **フル 1：**オリジナル映像の縦横比を変えずに縦または横いっぱいに映します。 · **フル 2：**オリジナル映像を画面いっぱいに映します。 · **ノーマル：**入力画素数を LCD の 1 ピクセルに合わせて表示します。画像は鮮明になりますが、画面に表示される画像は小さくなります。 · **4：3：**アスペクト比を 4:3 にします。 · **16：9：**アスペクト比を 16:9 にします。	入力信号による

ご注意

営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイドモード切り換え機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

プリセットメモリーナンバーについて

本機は、あらかじめ43種類（VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155）/44種類 （VPL-CW125）の映像データをプリセットしています（プリセットメモリー）。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。入力信号のメモリーナンバーと信号種類は情報メニュー画面（53ページ）に表示されます。
プリセットされたデータを信号設定メニューで調整することもできます。
また、プリセットメモリーとは別に、INPUT AとINPUT Bにそれぞれ20個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号に対する設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力された場合は、メモリーナンバー0と表示され、信号設定メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が20個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。

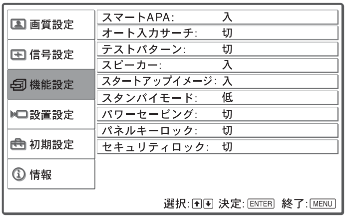
◆詳しくは、「プリセット信号一覧」（70ページ）をご覧ください。

下記の信号に対しては、プリセットメモリーからデータが呼び出された後、下の表に従って、「水平サイズ 」を変更してください。
「水平サイズ」を調整したあと、「シフト」で微調整してください。

信号	メモリーナンバー	サイズ
Super Mac-2	37	1312
SGI-1	37	1320
Macintosh 19"	39	1328
Macintosh 21"	41	1456
Sony News	47	1708
PC9821　1280 × 1024	47	1600
WS Sunmicro	48	1664

機能設定メニュー

機能設定を変更するメニューです。



設定項目	機能	初期設定値
スマート APA	APA （Auto Pixel Alignment）とは、コンピュータ信号入力時に、画像をくっきり見えるように自動調整する機能です。信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の 3 つの項目を自動で調整します。 ・**入**：コンピューター信号が入力されると自動的に APA の機能が働き画像がくっきり見えるように自動調整が始まります。ただし、一度自動調整された信号は、ケーブルを抜き差ししたり、入力切換をした場合でも自動調整されません。「入」に設定されているときでも、リモートコマンダーの APA キーを押して調整することができます。 ・**切**：リモートコマンダーの APA キーを押したときのみ調整が始まります。	入
オート入力サーチ	「入」に設定した場合、INPUT キーが押されたときに、入力 A/B/C*/ ビデオ /S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。 * VPL-CX125/CX155/CW125 のみ	切
テストパターン	「入」に設定すると、V キーストーン、サイドショット * 調整時にテストパターンが表示されます。 * VPL-CX125/CX155/CW125 のみ	切

設定項目	機能	初期設定値
スピーカー	スピーカーなどを接続していて、本体のスピーカーから音を出したくないとき「切」に設定します。 「切」に設定すると、電源を入れたとき「スピーカーの設定がオフになっています」というメッセージが画面に表示されます。	入
スタートアップイメージ	・**入：**電源を入れた後にスタートアップイメージを画面に表示します。 ・**切：**電源を入れた後にスタートアップイメージを画面に表示しません。	入
スタンバイモード	「低」に設定すると、スタンバイモード時の消費電力を少なくすることができます。	低
パワーセービング(節電モード)	節電モードの設定を選びます。 ・**ランプオフ：**本体に信号が入力されない状態が10分以上続くとランプが消えます。信号が入力されたり、キーを操作したりすると再びランプが点灯します。 ・**スタンバイ：**本体に信号が入力されない状態が10分以上続くとスタンバイ状態になります。再び使用する場合は、もう一度電源を入れてください。 ・**切：**節電モードに入りません。	切
パネルキーロック	天面のコントロールパネルキーをすべてロックし、リモートコマンダーのみで操作するように制御できます。 コントロールパネルキーをロックしたいときは、「入」に設定します。 「入」に設定時、本体がスタンバイ状態でコントロールパネルの I/⏻ キーを約10秒押すと電源が入り、電源が入った状態で押すと、スタンバイ状態になります。 電源が入った状態でMENUキーを約10秒押すとロックが解除され、設定が「切」になります。	切
セキュリティロック	本機にセキュリティロックを設定します。「入」にし、パスワードを設定するとロックがかかります。 ◆詳しくは、「セキュリティロック」(35ページ) をご覧ください。	切

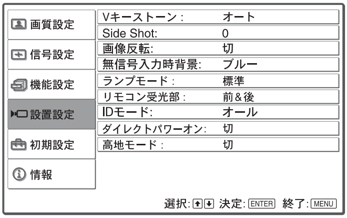
メニューで行う調整と設定

ご注意

・APA キーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。投影している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると、正しく APA 機能が働かず、画像の一部が表示されないことがあります。
・調整中にもう 1 度 APA キーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
・信号によっては、正しく調整されないことがあります。
・WXGA 信号（1280 × 768 ／ 1360 × 768）を入力しているとき、スマート APA を「入」に設定した場合とリモートコマンダーの APA キーを押した場合では、調整の動作が異なる場合があります。
・画質を手動で調整するときは、信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の調整をしてください。
・「スタンバイモード」を「低」にした場合、スタンバイ時にネットワークプレゼンテーションおよびネットワークコントロール機能は使えません。

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。



設定項目	機能	初期設定値
V キーストーン	投影角度によって画像が台形になってしまった場合にこれを補正します。自動で調整する場合は「オート」に設定し、手動で調整する場合は「マニュアル …」に設定します。 ◀/▶/▲/▼ キーで調整します。 **画面の上辺より下辺が長い場合** マイナス方向に数値を設定します。 **画面の下辺より上辺が長い場合** プラス方向に数値を設定します。	オート
Side Shot （サイドショット） （VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）	画像が水平方向に台形になってしまった場合、◀/▶/▲/▼ キーで調整します。 左辺より右辺が長い場合（） プラス方向に数値を設定します。 右辺より左辺が長い場合（） マイナス方向に数値を設定します。 V キーストーンのみ使用してより広い調整範囲を得たいときは、調整値を 0 に設定します。	0
画像反転	画像を水平または垂直方向に反転します。 · **切：**画像は反転しません。 · **上下左右：**画像を水平、垂直方向に反転します。 · **左右：**画像を水平方向に反転します。 · **上下：**画像を垂直方向に反転します。	切
無信号入力時背景	本機に信号が入力されていない場合の画面の色を「ブラック」、「ブルー」の中から選択します。通常は「ブルー」に設定してください。	ブルー

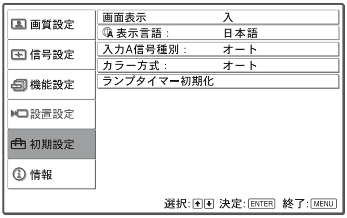
設定項目	機能	初期設定値
ランプモード	投影時のランプの明るさを設定します。 ・**高：**画面が明るくなります。 ・**標準：**投影時のファン音が静かになり、消費電力を軽減します。画面は「高」に設定した場合よりも暗くなります。	標準
リモコン受光部	本体前面と後面のリモコン受光部（IR 受光部）の設定をします。 ・**前＆後：**前面と後面のリモコン受光部を両方働かせる場合。 ・**前：**前面のリモコン受光部だけを働かせる場合。 ・**後：**後面のリモコン受光部だけを働かせる場合。	前 & 後
ID モード（VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）	リモートコマンダーから特定のプロジェクターを制御したいとき、プロジェクターに ID 番号（1 ～ 3）を設定します。リモートコマンダーの ID 番号を 1 に設定すると、ID 番号「1」に設定したプロジェクターを制御できます。「オール」に設定すると、リモートコマンダーからリモートコマンダーの ID MODE キーに関係なく、プロジェクターを制御できます。	オール
ダイレクトパワーオン	ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合は、ダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。 スタンバイ状態を経ずに電源のオン／オフができます。	切
高地モード	海抜 1500m 以上の高地でのご使用の場合は「入」に設定します。	切

ご注意

・V キーストーン補正の自動調整は、室温やスクリーンの傾きなどにより適正な補正が得られない場合があります。
・V キーストーンの設定が「オート」の場合に補正量を微調整するには、本体コントロールパネルまたはリモコンのキーストーンキーを押し、値を変更してください。一時的にオート設定からマニュアルモードに移行します。もう 1 度「オート」として動作させたい場合は、V キーストーン設定を「マニュアル」に切り替えたあと、「オート」に戻してください。
微調整した補正量を次回使用時に適用させたい場合は、V キーストーン設定を「オート」から「マニュアル」に変更してください。
・海抜 1500m 未満で高地モードを「入」に設定すると、ランプの信頼性に影響する恐れがあります。

初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。

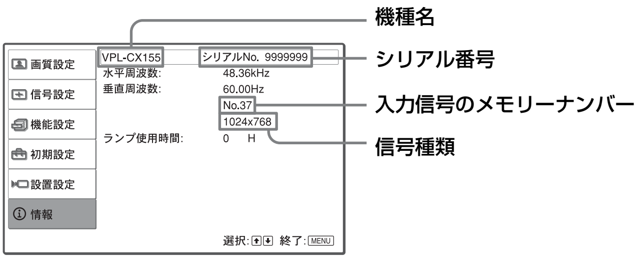


設定項目	機能	初期設定値
画面表示	画面表示の設定をします。「切」に設定した場合、メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出ないようにします。	入
表示言語	メニュー画面表示の言語を変更します。「English」(英語)、「Nederlands」(オランダ語)、「Français」(フランス語)、「Italiano」(イタリア語)、「Deutsch」(ドイツ語)、「Español」(スペイン語)、「Português」(ポルトガル語)、「Pyccкий」(ロシア語)、「Svenska」(スウェーデン語)、「Norsk」(ノルウェー語)、「日本語」、「中文(简体字)」(中文簡体字)、「中文(繁體字)」(中文繁体字)、「한국어」(韓国語)、「ภาษาไทย」(タイ語)から選ぶことができます。	English(英語)
入力 A 信号種別	INPUT A 端子に入力される信号を「オート」、「コンピューター」信号、「コンポーネント」信号と「ビデオ GBR」信号から選びます。「オート」では、入力されている信号の種類を自動判別します。「オート」に設定して、入力されている信号が正しく表示されない場合は、入力信号に合わせて設定してください。	オート

設定項目	機能	初期設定値
カラー方式	カラー方式を選びます。 「オート」にすると、自動的にカラー方式を判断します。信号の状態が悪く、画像が乱れたり、色がつかない場合は、入力信号のカラー方式を選択してください。 PAL60 の場合は「PAL」を選択してください。 オートでは判別できません。	オート
ランプタイマー初期化	光源用のランプ交換をしたときに、ランプタイマーを初期化します。	−

情報メニュー

プロジェクターの機種名、シリアル番号、投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。



設定項目	機能
水平周波数	水平周波数を表示します。 周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。
垂直周波数	垂直周波数を表示します。 周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。
入力信号のメモリーナンバー	入力信号のプリセットメモリーナンバーを表示する。
信号種類	入力信号の解像度を表示する。
ランプ使用時間	ランプの使用時間を累積して表示します。

ご注意

- 水平周波数と垂直周波数は、お使いの入力信号によっては表示されないことがあります。
- 上記の項目は変更できません。

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。詳しくは、下の表をご覧ください。
調整･設定できない項目はメニューに表示されません。

画質設定メニュー

項目	入力信号				
	ビデオ / S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター	ネットワーク *4
画質モード	○	○	○	○	○
コントラスト	○	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○	○
色の濃さ	○ *1	○	○	×	×
色合い	○ *2	○	○	×	×
色温度	○	○	○	○	○
シャープネス	○	○	○	×	×
ガンマモード	×	×	○ *3	○	○

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目
*1：白黒を除く
*2：NTSC3.58、NTSC4.43 のみ、白黒を除く
*3：プリセットメモリーナンバー 3、4 のみ
*4：VPL-CX125/CX155/CW125 のみ

信号設定メニュー

項目	入力信号				
	ビデオ / S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター	ネットワーク *6
アスペクト	○	○	○	○ *5	×
入力信号調整					
ドットフェーズ	×	×	×	○	×
水平サイズ	×	×	×	○	×
シフト	×	○	○	○	×

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目
*5：プリセットメモリーナンバーが 49 以外のときに設定可能
*6：VPL-CX125/CX155/CW125 のみ

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、次のような場合は新しいランプと交換してください。

- 光源のランプが切れたとき
- 光源のランプが暗くなったとき
- 「ランプを交換し、フィルターを掃除してください。」というメッセージが表示されたとき
- LAMP/COVER インジケーターが点滅したとき（3 回点滅パターンの繰り返し）

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売のプロジェクターランプ LMP-C200 をお使いください。それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

ご注意

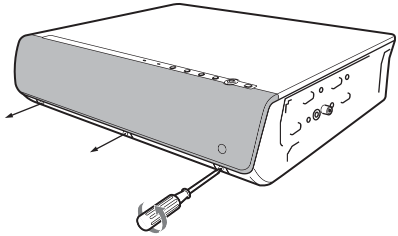
ランプが破損している場合は、テクニカルインフォメーションセンターにランプ交換と内部の点検を依頼してください。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

ご注意

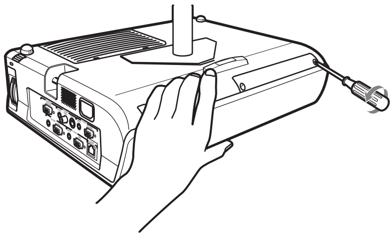
本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

2 ランプカバーのネジ（3 本）をプラスドライバーでゆるめる。

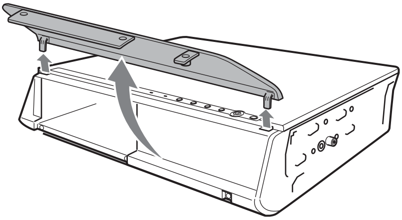


ご注意

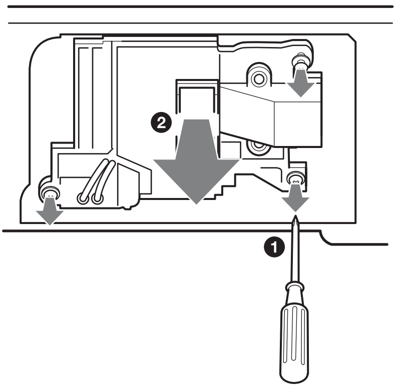
本機を天井に吊るしたまま作業をする場合は、ネジをゆるめるときにランプカバーが落下しないよう手で押さえてください。



3 ランプカバーの下部に指をかけ、手前に引き上げるようにしてランプカバーをはずす。



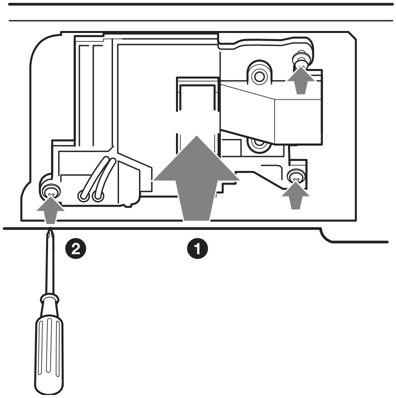
4 ランプのネジ（3 本）をプラスドライバーでゆるめ（❶）、取り出し用ノブをつまんで（❷）ランプを引き出す。



ご注意

ランプを取りはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。

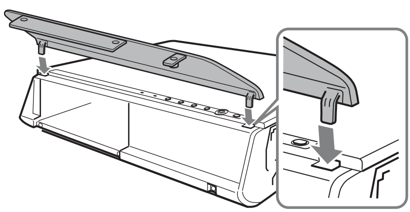
5 新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶）、ネジ（3 本）を締める（❷）。



ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源は入りません。

6 ランプカバーを元の位置にもどし、ネジ（3 本）をプラスドライバーで締める。



ご注意

ランプカバーはしっかりと取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません（62 ページ）。

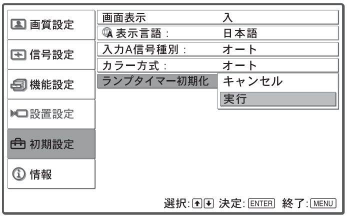
7 電源コードを接続する。

ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯します。

8 I/⏻ キーを押して電源を入れる。

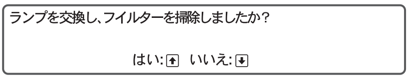
9 MENU キーを押して初期設定メニューを選ぶ。

10「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER キーを押す。



11▼ キーで「実行」を選び、ENTER キーを押す。

ランプタイマーが 0 に初期化され、「ランプを交換し、フィルターを掃除しましたか？」というメッセージが表示されます。



フィルター掃除のしかたは、次の「エアーフィルターをクリーニングする」を参照してください。

12▲ キーで「はい」を選ぶ。

「ランプタイマー初期化が完了しました」というメッセージが表示されます。

ご注意

メッセージを消す場合は、リモートコマンダーまたはコントロールパネルのいずれかのキーを押してください。

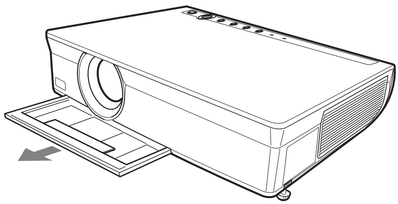
エアーフィルターをクリーニングする

ランプ交換と合わせてエアーフィルターのクリーニングが必要です。エアーフィルターを取りはずし、掃除機で掃除してください。

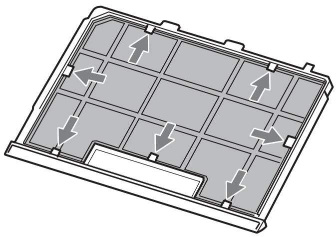
クリーニング時期は目安です。使用環境や使いかたによって異なります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 エアーフィルターカバーを手前に引き出して取りはずす。



3 エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめ（7 か所）からはずす。



4 掃除機でエアーフィルターを掃除する。

5 エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめ（7 か所）にはめこむ。

ご注意

エアフィルターには表裏があります。図のように、エアフィルターの格子部を上面に見えるように装着してください。

6 エアーフィルターカバーをもとのところに差し込んで取り付ける。

ご注意

・フィルターを掃除機で掃除しても汚れが落ちないときは、新しいフィルターに交換してください。新しいフィルターについては、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。
・エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。（62 ページ）
・メッセージを消す場合は、リモートコマンダー、または、コントロールパネルのいずれかのキーを押してください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I/⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔約60秒たってから電源を入れてください。 ・ランプカバーがはずれている。 ➔ランプカバーをしっかりとはめてください。（56ページ） ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。（57ページ）

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。（27ページ） ・接続手順が正しくない。 ➔本機はDDC2B（Display Data Channel 2B）に対応しています。お使いのコンピューターがDDCに対応している場合は、**1.** 本機とコンピューターを接続し、**2.** 本機の電源を入れ、**3.** コンピューターを起動してください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔投影する映像を正しく選んでください。（30ページ） ・映像が消画（ミューティング）されている。 ➔PIC MUTINGキーを押して、ミューティングを解除してください。（18、21、23ページ） ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。（28ページ）
画面にノイズが出る。	・入力信号のドット数とLCDパネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。 ・もともとジッターなどがでているビデオ信号を入力した。 ➔TBC（タイムベースコレクター）を使用してください。

症状	原因と対処
INPUT A 端子から入力している映像の色がおかしい。	初期設定メニューの「入力 A 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 A 信号種別」で「コンピューター」、「ビデオ GBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。（51 ページ）
INPUT A 端子から正しく信号を入力しているのに「入力 A 信号種別の設定を確認してください。」というメッセージが表示される。	初期設定メニューの「入力 A 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 A 信号種別」で「コンピューター」、「ビデオ GBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。（51 ページ）
画面表示が出ない。	初期設定メニューの「画面表示」が「切」に設定されている。 ➔「画面表示」の設定を「入」にしてください。（51 ページ）
色がおかしい。	・画質の調整をしていない。 ➔画質設定メニューで画質の調整をしてください。（41 ページ） ・入力信号のカラー方式が合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。（52 ページ）
画面が暗い。	・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 ➔画質設定メニューで正しく設定してください。（42 ページ） ・ランプが消耗している。 ➔ランプを交換してください。（55 ページ）
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔フォーカスを合わせてください。（32 ページ） ・結露が生じた。 ➔電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔スクリーンいっぱいに画像を映してから APA キーを押してください。 ➔信号設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。（43 ページ）
画面がちらつく。	スクリーン設定メニューの「ドットフェーズ」の設定が合っていない。 ➔信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。（43 ページ）

音声に関する項目

症状	原因と対処
音が出ない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。(27 ページ) ・正しいケーブルで接続されていない。 ➔抵抗なしのステレオオーディオ接続ケーブルをお使いください。(27 ページ) ・音声が消音（ミューティング）されている。 ➔AUDIO MUTING キー（VPL-CX100/CX120/CX150）または MUTING（AUDIO）キー（VPL-CX125/CX155/CW125）を押して、ミューティングを解除してください。(21、23 ページ) ・音量が正しく調整されてない。 ➔リモートコマンダーのVOLUME＋/－キーで正しく調整してください。 ・スピーカーが「切」になっている。 ➔機能設定メニューの「スピーカー」を「入」にしてください。(47 ページ)

リモートコマンダーに関する項目

症状	原因と対処
リモートコマンダーが機能しない。	・電池の交換時期がきた。 ➔新しい電池と交換してください。(22、24 ページ) ・COMMAND ON/OFF 切り換えスイッチが OFF になっている。(VPL-CX125/CX155/CW125 のみ) ➔ON にする。(22 ページ) ・設置設定メニューの「ID モード」で設定したプロジェクターの ID 番号とリモートコマンダーの ID MODE キーの ID 番号が違っている。(VPL-CX125/CX155/CW125 のみ) ➔同じ ID 番号、または設置設定メニューの「ID モード」を「オール」に設定してください。(21、50 ページ)

その他に関する項目

症状	原因と対処
本体のコントロールパネルキーが操作できない。	コントロールパネルキーがロックされている。 ➔キーロックを解除してください。(47 ページ)

症状	原因と対処
ファンの音が気になる。	➔高地モードを確認する。(50 ページ) ➔吸気口、排気口がふさがれていないか確認する。 ➔室温が高くないか確認する。 部品の信頼性のため、常温より室温が高くなるとファンの回転数が上がり、ファンの音が大きくなります。常温の目安は 25 ℃です。

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。(2 回点滅パターンの繰り返し)	・ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔カバーをしっかりはめてください。(55、57 ページ)
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。(3 回点滅パターンの繰り返し)	・ランプの交換時期がきた。 ➔ランプを交換してください。(55 ページ) ・ランプが高温になっている。 ➔60 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう一度電源を入れてください。
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。(2 回点滅パターンの繰り返し)	・内部が高温になっている。 ➔排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・標高が高い場所で使用されている。 ➔高地モードが「入」に設定されているか確認してください。(50 ページ)
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。(4 回点滅パターンの繰り返し)	ファンが故障している。 ➔お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。(6 回点滅パターンの繰り返し)	電源コードを抜いて、ON/STANDBY インジケーターが消えるのを確認してから、電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる。症状が再発する場合は、電気系統が故障している。 ➔お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
セット内部温度が高いです。1分後にランプオフします。	内部の温度が高くなった。 ➔電源を切ってください。 ➔排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	・対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 ・接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。 ➔対応範囲内の信号を入力してください。
入力A信号種別の設定を確認してください。	初期設定メニューの「入力A信号種別」が「コンポーネント」に設定されているのに、コンピューターからRGB信号を入力した。 ➔「入力A信号種別」を正しく設定してください。（51ページ）
ランプを交換し、フィルターを掃除してください。	・ランプの交換およびフィルター掃除の時期が来た。 ➔ランプを交換してください。（55ページ） ➔フィルターを掃除してください。（57ページ） ・ランプ交換後も表示される場合は作業が完了されていない。 ➔57ページの手順9～12を行ってください。 **ご注意** メッセージを消す場合は、リモートコマンダーキー、または、コントロールパネルキーのいずれかのキーを押してください。
高地で使用されている可能性があります。 高地モードに切り替えますか？ はい↑いいえ↓	内部の温度が高くなった。 ➔海抜1500m以上でご使用の場合は、高地モードに設定する。（50ページ） ➔海抜1500m以下でご使用の際にこのメッセージが表示された場合は、排気口がふさがれていないか確認する。（16ページ）

その他

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
無効キーが押されました。	操作が正しくない。 ➔正しいキーを押してください。
パネルキーロック中です！	初期設定メニューの「パネルキーロック」が「入」に設定されている。 ➔コントロールパネルのキーは全てロックされています。 リモートコマンダーで操作してください。（47 ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式　3LCDパネル、1レンズ、3原色液晶シャッター投写方式

LCDパネル　VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155：0.79インチ（20.1 mm）XGAパネル、約236万画素（1024 × 768 × 3）
VPL-CW125：0.74インチ（18.8 mm）WXGAパネル、約328万画素、（1366 × 800 × 3）

レンズ　1.2倍ズームレンズ
f 23.5 ～ 28.2 mm
F1.75 ～ 2.17

ランプ　200 W 高圧水銀ランプ

投影画面サイズ
40型～ 300型
（1,016 mm ～ 7,620 mm）

光出力[1)]　VPL-CX150/CX155：3500 lm
VPL-CX120/CX125/CW125：3000 lm
VPL-CX100：2700 lm
（ランプモード高のとき）

1) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911：2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。

その他

投影距離（床置き）

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155

（XGA 入力時）

投影画面サイズ（対角）	距離（m）
40 型（1,016 mm）	1.2 ～ 1.4
60 型（1,524 mm）	1.8 ～ 2.1
80 型（2,032 mm）	2.4 ～ 2.8
100 型（2,540 mm）	3.0 ～ 3.5
120 型（3,048 mm）	3.6 ～ 4.1
150 型（3,810 mm）	4.5 ～ 5.2
180 型（4,572 mm）	5.4 ～ 6.2
200 型（5,080 mm）	6.0 ～ 6.9
250 型（6,350 mm）	7.5 ～ 8.7
300 型（7,620 mm）	9.1 ～ 10.4

VPL-CW125

（信号設定メニューの「アスペクト」が「フル 2」のとき）

投影画面サイズ（対角）	距離（m）
40 型（1,016 mm）	1.3 ～ 1.5
60 型（1,524 mm）	1.9 ～ 2.2
80 型（2,032 mm）	2.6 ～ 3.0
100 型（2,540 mm）	3.2 ～ 3.7
120 型（3,048 mm）	3.9 ～ 4.5
150 型（3,810 mm）	4.9 ～ 5.6
180 型（4,572 mm）	5.9 ～ 6.7
200 型（5,080 mm）	6.5 ～ 7.5
250 型（6,350 mm）	8.1 ～ 9.4
300 型（7,620 mm）	9.8 ～ 11.3

（設計値のため多少の誤差あり）

電気系

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 自動切り換え／手動切り換え
（NTSC4.43 とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、NTSC4.43 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。）

解像度　VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155：水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）
1,024 × 768 ドット（RGB 入力時）
VPL-CW125：水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）
1,366 × 800 ドット（RGB 入力時）

対応コンピューター信号 2)
fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz
（最高入力解像度信号：SXGA+ 1,400 × 1,050 fV：60Hz）

2) 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号
15k RGB、コンポーネント 50/60Hz、プログレッシブコンポーネント 50/60Hz、DTV（480/60i、575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i）、コンポジットビデオ、Y/C ビデオ

スピーカー　モノラルスピーカーシステム 40 × 20 mm

スピーカー出力
最大 1W × 1

入出力

ビデオ　VIDEO：ピンジャック
コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
S VIDEO：Y/C、ミニ DIN4 ピン
Y（輝度）信号：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
C（クロマ）信号：
バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）（75Ω 終端）
バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）（75Ω 終端）
AUDIO：ステレオミニジャック 500mVrms、インピーダンス 47kΩ 以上

INPUT A（入力 A）：HD D-sub 15 ピン
アナログ RGB/ コンポーネント：
R/R-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
同期付 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
B/B-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
HD：水平同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
VD：垂直同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
AUDIO：ステレオミニジャック、定格入力 500mVrms、入力インピーダンス 47kΩ 以上

INPUT B（入力 B）：
アナログ RGB：HD D-sub 15 ピン
R：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
B：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
HD：水平同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
VD：垂直同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
AUDIO：ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上

INPUT C（入力 C）（VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）：
NETWORK：RJ45：10BASE-T/100 BASE-TX

OUTPUT：　MONITOR OUT：HD D-sub 15 ピン、凹
R、G、B：Gain Unity：75Ω
SYNC/HD、VD：4 Vp-p（オープン）、1 Vp-p（75Ω）
AUDIO OUT（出力可変）：ステレオミニジャック
1 Vrms（ボリューム最大、500 mVrms 入力時）、出力インピーダンス 5 kΩ

REMOTE：　RS-232C：D-sub 9 ピン

一般

外形寸法　372 × 90 × 298 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量　約 4.1 kg

電源　AC100 V、2.9 A、50/60 Hz

消費電力　VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155：最大 285 W
スタンバイ時（標準）：7 W
スタンバイ時（低）：0.5 W
VPL-CW125：最大 287 W
スタンバイ時（標準）：7 W
スタンバイ時（低）：0.5 W

発熱量　VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155：973 BTU
VPL-CW125：979 BTU

動作温度　0 ℃ ～ ＋ 35 ℃

動作湿度　35 % ～ 85 %（結露しないこと）

保存温度　－ 20 ℃ ～ ＋ 60 ℃

保存湿度　10 % ～ 90 %

付属品　リモートコマンダー（1）
単 3 形乾電池（2、VPL-CX125/CX155/CW125 のみ）
リチウム電池 CR2025（1、VPL-CX100/CX120/CX150 のみ）
レンズキャップ（1）
HD D-sub 15 ピンケーブル（2 m）（1）（1-791-992-xx）
電源コード（1）
CD-ROM（取扱説明書、アプリケーションソフトウェア）（1）
簡易説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

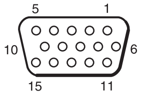
お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

別売アクセサリー

プロジェクターランプ LMP-C200（交換用）
プレゼンテーションツール
RM-PJPK1

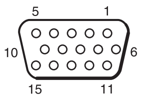
ピン配列

INPUT A 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）



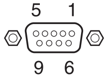
1	映像入力 （赤）R/R-Y	9	DDC 用 電源入力
2	映像入力 （緑）G/Y	10	接地
3	映像入力 （青）B/B-Y	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

INPUT B 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）



1	映像入力 （赤）R	9	DDC 用 電源入力
2	映像入力 （緑）G	10	接地
3	映像入力 （青）B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）



1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

プリセット信号一覧

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
1	ビデオ /60 Hz	ビデオ 60 Hz	15.734	59.940	–	–
2	ビデオ /50 Hz	ビデオ 50 Hz	15.625	50.000	–	–
3	480/60i	DTV 480/60i	15.734	59.940	S on G/Y	–
4	575/50i	DTV 575/50i	15.625	50.000	S on G/Y	–
5	480/60p	480/60p（倍速 NTSC）	31.470	60.000	S on G/Y	–
6	575/50p	575/50p（倍速 PAL）	31.250	50.000	S on G/Y	–
7	1080/60i	1035/60i, 1080/60i	33.750	60.000	S on G/Y	–
8	1080/50i	1080/50i	28.130	50.000	S on G/Y	–
10	720/60p	720/60p	45.000	60.000	S on G/Y	–
11	720/50p	720/50p	37.500	50.000	S on G/Y	–
21	640 × 350	VGA モード 1	31.469	70.086	H- 正 V- 負	800
22		VESA 85 (VGA350)	37.861	85.080	H- 正 V- 負	832
23	640 × 400	NEC PC98	24.823	56.416	H- 負 V- 負	848
24		VGA モード 2	31.469	70.086	H- 負 V- 正	800
25		VESA 85 (VGA400)	37.861	85.080	H- 負 V- 正	832
26	640 × 480	VGA モード 3	31.469	59.940	H- 負 V- 負	800
27		Mac 13	35.000	66.667	H- 負 V- 負	864
28		VESA 72	37.861	72.809	H- 負 V- 負	832
29		VESA 75 (IBM M3)	37.500	75.000	H- 負 V- 負	840
30		VESA 85	43.269	85.008	H- 負 V- 負	832
31	800 × 600	VESA 56	35.156	56.250	H- 正 V- 正	1024
32		VESA 60	37.879	60.317	H- 正 V- 正	1056
33		VESA 72	48.077	72.188	H- 正 V- 正	1040
34		VESA 75 (IBM M5)	46.875	75.000	H- 正 V- 正	1056
35		VESA 85	53.674	85.061	H- 正 V- 正	1048
36	832 × 624	Mac 16	49.724	74.550	H- 負 V- 負	1152
37	1024 × 768	VESA 60	48.363	60.004	H- 負 V- 負	1344
38		VESA 70	56.476	70.069	H- 負 V- 負	1328
39		VESA 75	60.023	75.029	H- 正 V- 正	1312
40		VESA 85	68.677	84.997	H- 正 V- 正	1376
41	1152 × 864	VESA 70	63.995	70.019	H- 正 V- 正	1472
42		VESA 75	67.500	75.000	H- 正 V- 正	1600
43		VESA 85	77.487	85.057	H- 正 V- 正	1568

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
44	1152 × 900	SUN LO	61.795	65.960	H- 負 V- 負	1504
45	1280 × 960	VESA 60	60.000	60.000	H- 正 V- 正	1800
46		VESA 75	75.000	75.000	H- 正 V- 正	1728
47	1280 × 1024	VESA 60	63.974	60.013	H- 正 V- 正	1688
48		SXGA VESA75	79.976	75.025	H- 正 V- 正	1688
49		SXGA VESA85	91.146	85.024	H- 正 V- 正	1728
50	1400 × 1050	SXGA+	65.317	59.978	H- 負 V- 正	1864
55	1280 × 768	1280 × 768/60	47.776	59.870	H- 負 V- 正	1664
56	1280 × 720	1280 × 720/60	44.772	59.855	H- 負 V- 正	1664
60	1360 × 768	1360 × 768/60	47.720	59.799	H- 負 V- 正	1776
63 *1	1280 × 800	1280 × 800/60	49.702	59.810	H- 負 V- 正	1680

*1：VPL-CW125 のみ

入力ごとの対応プリセットメモリーナンバーについて

アナログ信号

信号	プリセットメモリーナンバー
ビデオ信号（ビデオ、S ビデオ端子）	1、2
コンポーネント信号（INPUT A 端子）	3 ～ 11
ビデオ GBR 信号（INPUT A 端子）	3 ～ 11
コンピューター信号（INPUT A、INPUT B 端子）	21 ～ 50、55、56、60、63 *1

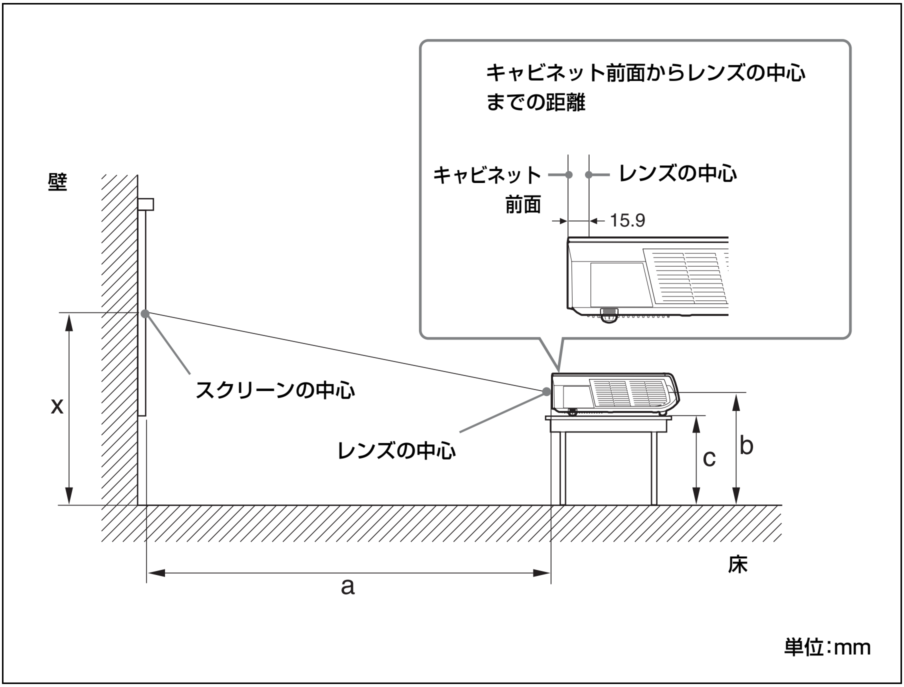
*1：VPL-CW125 のみ

ご注意

上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。

設置寸法

床置き、フロントト投影



本機を机などの上に置いて設置する場合の設置例を示します。

設置寸法については、次ページの表をご覧ください。

イラスト中のアルファベットは、以下の距離を示します。
a：レンズの中心からスクリーンまでの距離
b：床からレンズの中心までの距離
c：床から本機の脚までの距離
x：床からスクリーン中心までの距離（任意）

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155

（XGA 入力時）

単位：mm

PS（型）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
(mm)		1016	1524	2032	2540	3048	3810	4572	5080	6350	7620
a	N	1170	1770	2380	2990	3590	4500	5410	6020	7540	9050
	M	1350	2050	2750	3450	4140	5190	6240	6940	8680	10430
b		x-237	x-356	x-474	x-593	x-711	x-889	x-1067	x-1185	x-1482	x-1778
c		x-298	x-417	x-535	x-654	x-772	x-950	x-1128	x-1247	x-1543	x-1839

a(N) = {(PS × 23.306/0.7874) − 46.6} × 1.025

a(M) = {(PS × 28.188/0.7874) − 45.9} × 0.975

b = x − （PS/0.7874 × 4.667）

c = x − （PS/0.7874 × 4.667 ＋ 61.2）

VPL-CW125

（信号設定メニューの「アスペクト」が「フル２」のとき）

単位：mm

PS（型）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
(mm)		1016	1524	2032	2540	3048	3810	4572	5080	6350	7620
a	N	1260	1920	2570	3230	3880	4870	5850	6500	8140	9780
	S	1460	2220	2970	3720	4480	5610	6740	7490	9370	11260
b		x-257	x-385	x-513	x-642	x-770	x-963	x-1155	x-1284	x-1605	x-1925
c		x-318	x-446	x-575	x-703	x-831	x-1024	x-1216	x-1345	x-1666	x-1987

a(N) = {(PS × 23.3/0.7292) − 46.6} × 1.025

a(M) = {(PS × 28.171/0.7292) − 45.650} × 0.975

b = x − （PS/0.7292 × 4.68）

c = x − （PS/0.7292 × 4.68 ＋ 61.2）

ご注意（VPL-CW125 のみ）

- 投影画面サイズは、信号設定メニューでアスペクトが「フル 2」に設定されている場合のサイズです。「フル 2」以外に設定されている場合、上下または左右に黒枠が表示されます。
- 信号設定メニューのアスペクトが「4：3」に設定されている場合、投影される画面サイズ（対角）は「フル 2」の場合に比べて約 84% となります。
- 信号設定メニューのアスペクトが「16:9」に設定されている場合、投影される画面サイズ（対角）は「フル 2」の場合に比べて約 99% となります。

表および計算式のアルファベットは以下の意味を示します。

PS：投影画面サイズ（対角）

a：レンズの中心からスクリーンまでの距離

b：床からレンズの中心までの距離

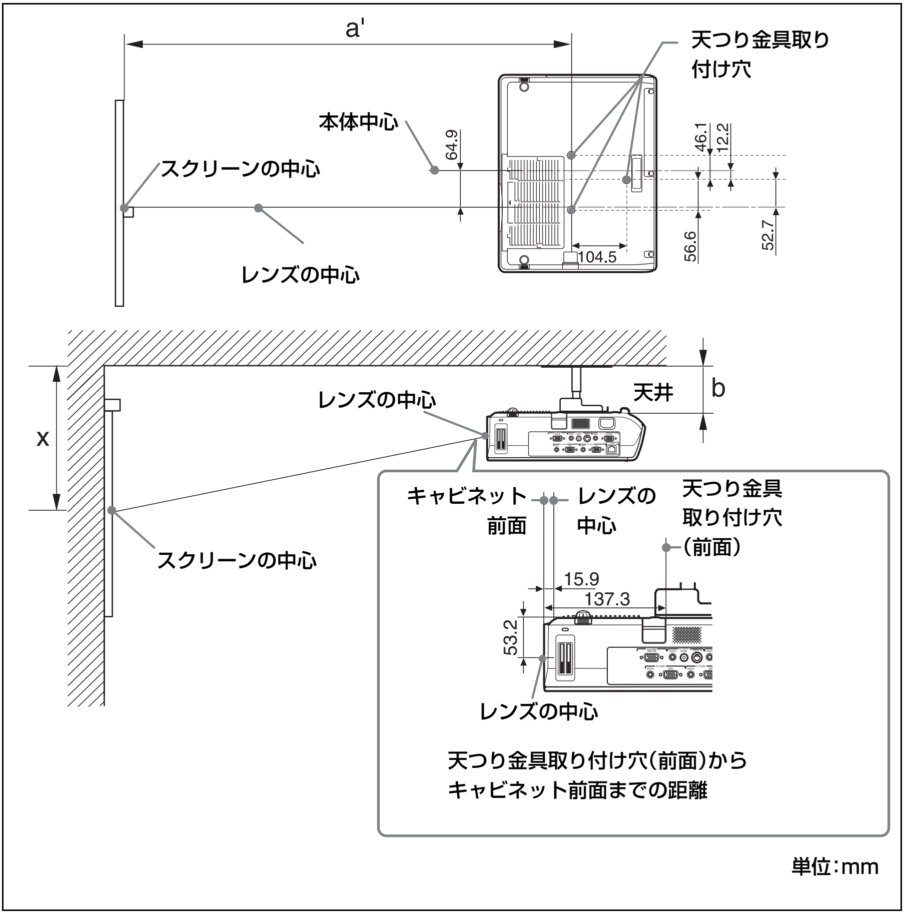
c：床から本機の脚までの距離

x：任意

N：最小値

M：最大値

天井つり、フロントン投影



本機を天井からつり下げて設置する場合の設置例を示します。
天井つりの場合は、ソニー推奨のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。設置について詳しくは、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
設置寸法については、次ページの表をご覧ください。

イラスト中のアルファベットは、以下の距離を示します。
a'：本機底面の天つり金具取り付け穴（前面）からスクリーンまでの距離
b：天井から天つり金具取り付け面までの距離
x：天井からスクリーン中心までの距離

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155

（XGA 入力時）

											単位：mm
PS（型）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
(mm)		1016	1524	2032	2540	3048	3810	4572	5080	6350	7620
a'	N	1290	1900	2500	3110	3720	4630	5540	6140	7660	9180
	M	1470	2170	2870	3560	4260	5310	6360	7050	8800	10540
x		b+290	b+409	b+527	b+646	b+764	b+942	b+1120	b+1239	b+1535	b+1831
b		任意									

a'(N) = {(PS × 23.306/0.7874) + 74.7574} × 1.025

a'(M) = {(PS × 28.188/0.7874) + 75.509} × 0.975

x = b + (PS/0.7874 × 4.667 + 53.2)

VPL-CW125

（信号設定メニューの「アスペクト」が「フル２」のとき）

											単位：mm
PS（型）		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
(mm)		1016	1524	2032	2540	3048	3810	4572	5080	6350	7620
a'	N	1390	2040	2700	3350	4010	4990	5970	6630	8260	9900
	M	1580	2330	3090	3840	4590	5720	6850	7610	9490	11370
x		b+310	b+438	b+567	b+695	b+823	b+1016	b+1208	b+1337	b+1658	b+1979
b		任意									

a'(N) = {(PS × 23.3/0.7292) + 75.145} × 1.025

a'(M) = {(PS × 28.171/0.7292) + 75.75} × 0.975

x = b + （PS/0.7292 × 4.68 + 53.2）

ご注意（VPL-CW125 のみ）

- 投影画面サイズは、信号設定メニューでアスペクトが「フル 2」に設定されている場合のサイズです。「フル 2」以外に設定されている場合、上下または左右に黒枠が表示されます。
- 信号設定メニューのアスペクトが「4：3」に設定されている場合、投影される画面サイズ（対角）は「フル 2」の場合に比べて約 84% となります。
- 信号設定メニューのアスペクトが「16:9」に設定されている場合、投影される画面サイズ（対角）は「フル 2」の場合に比べて約 99% となります。

表および計算式のアルファベットは以下の意味を示します。

PS：投影画面サイズ（対角）

a'：本機底面の天つり金具取り付け穴（前面）からスクリーンまでの距離

b：天井から天つり金具取り付け面までの距離

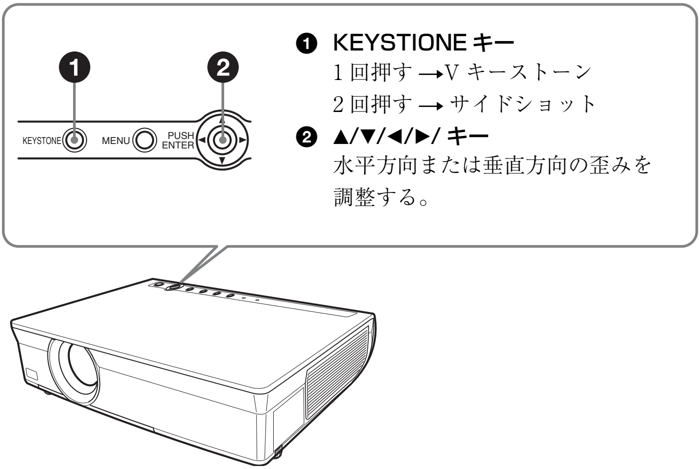
x：天井からスクリーン中心までの距離

N：最小値

M：最大値

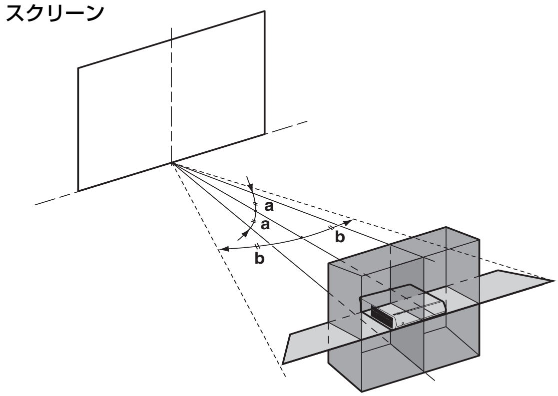
サイドショット(VPL-CX125/CX155/CW125のみ)とV キーストーン補正について

本機はサイドショット（水平台形歪み補正／H キーストーン補正機能）があり、斜め横からでも投射可能です。
サイドショットのみで投射すると、サイドショットを最大限に利用して、画面の水平方向の歪みを補正できます。
サイドショットとV キーストーン（垂直台形歪み補正）を併用して投射すると、画面の水平方向（　　）と垂直方向（　　）の歪みを補正することができます。



サイドショットと V キーストーン補正範囲について

サイドショットと V キーストーンを使用して補正できる歪みの範囲は次の通りです。



a：V キーストーン（垂直台形歪み）補正範囲の本機の傾き角度
b：サイドショット（水平台形歪み／ H キーストーン補正）範囲

その他

VPL-CX125/CX155

入力信号		a	b
ビデオ /60、ビデオ /50、480/60i, 575/50i、480/60p、575/50p	a=0	0	+/–15
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–18	+/–8
	b=0	+/–25	0
1080/60i、1080/50i	a=0	0	+/–13
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–18	+/–8
	b=0	+/–25	0
720/60p、720/50p	a=0	0	+/–13
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–18	+/–6
	b=0	+/–25	0
コンピューター（プリセット信号 No.21 ～ 49、51 ～ 60）、Air Shot	a=0	0	+/–11
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–18	+/–6
	b=0	+/–25	0
コンピューター（プリセット信号 No.50）	a=0	0	+/–7
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–18	+/–4
	b=0	+/–25	0

VPL-CW125

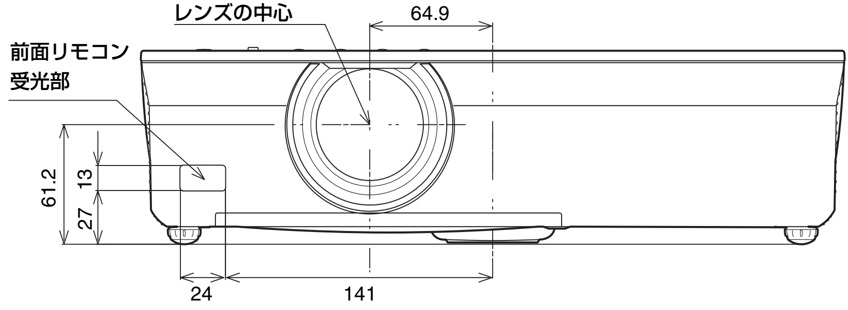
入力信号		a	b
ビデオ /60、ビデオ /50、480/60i, 575/50i、480/60p、575/50p	a=0	0	+/–16
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–19	+/–9
	b=0	+/–22	0
1080/60i、1080/50i	a=0	0	+/–13
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–19	+/–9
	b=0	+/–22	0
720/60p、720/50p	a=0	0	+/–13
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–19	+/–6
	b=0	+/–22	0
コンピューター（プリセット信号 No.21 ～ 40）、Air Shot	a=0	0	+/–11
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–19	+/–6
	b=0	+/–22	0
コンピューター（プリセット信号 No.41 ～ 63）	a=0	0	+/–7
	a ≠ 0 または b ≠ 0	+/–19	+/–3
	b=0	+/–22	0

ご注意

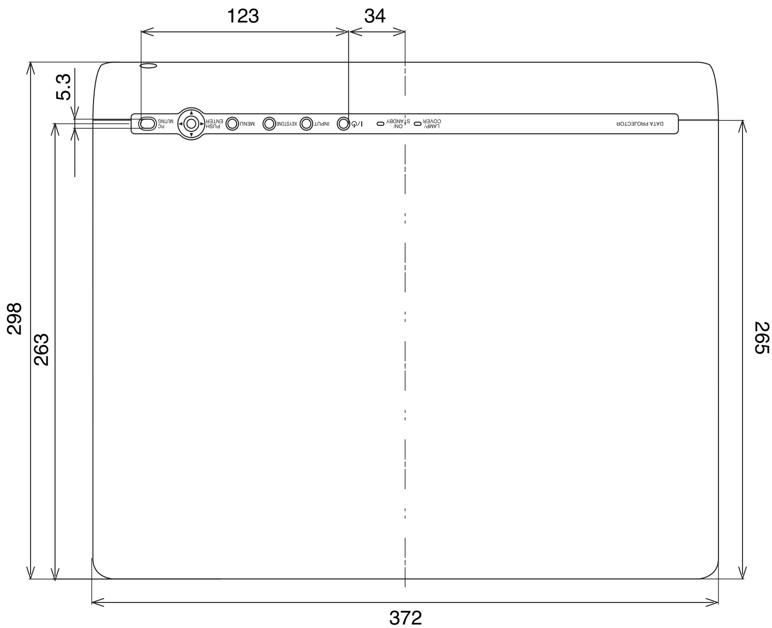
- 「V キーストーン」が「オート」に設定されていると、サイドショットの補正量が小さくなります。
- 設置設定メニューの「V キーストーン」は、初期設定で「オート」に設定されており、画像の垂直方向を自動的に補正します。ただし、室温やスクリーンの傾きなどにより、適正な補正が得られない場合があります。この場合は「マニュアル」に設定して数値で調整します。

寸法図

前面

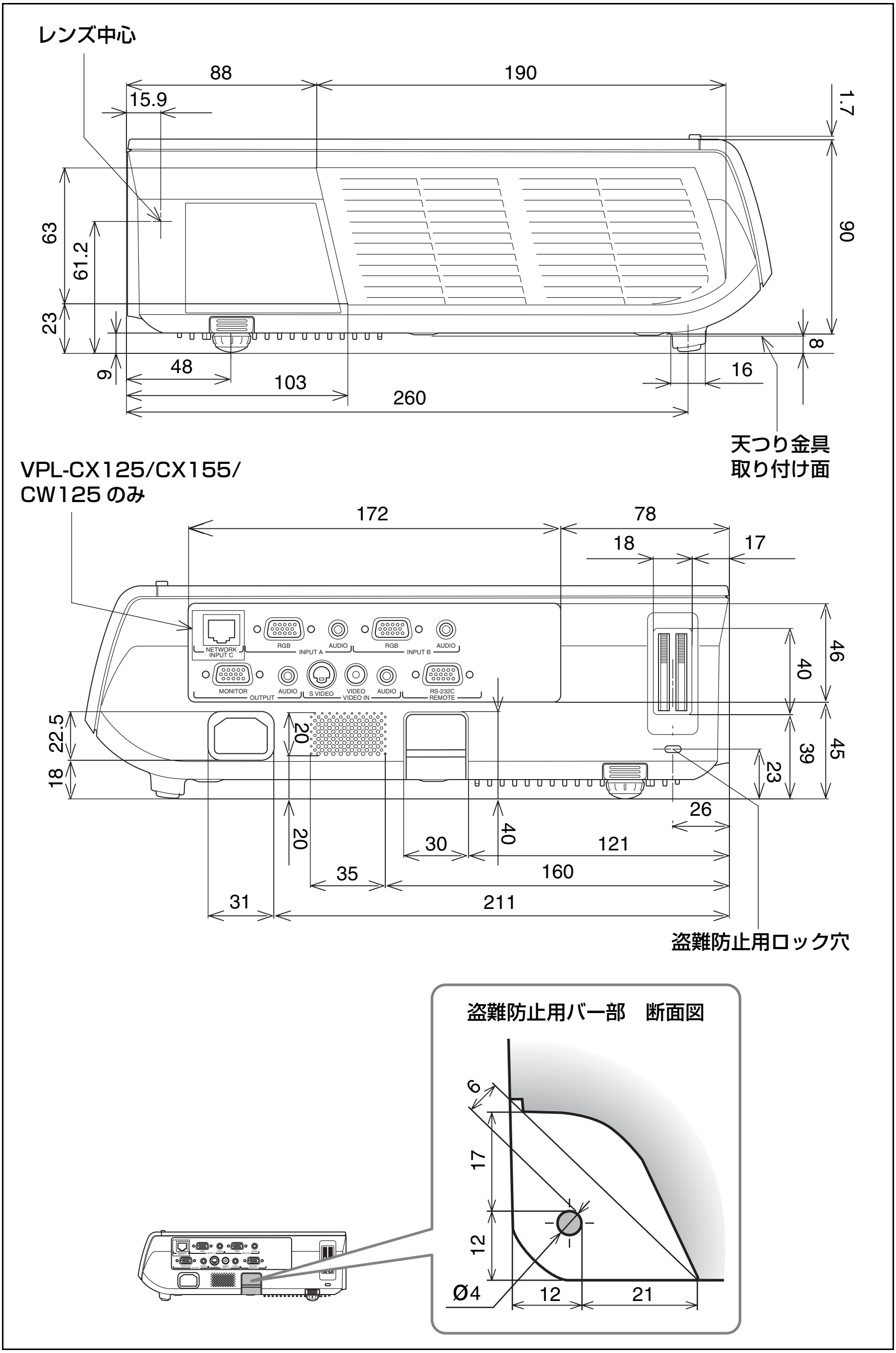


天面



単位：mm

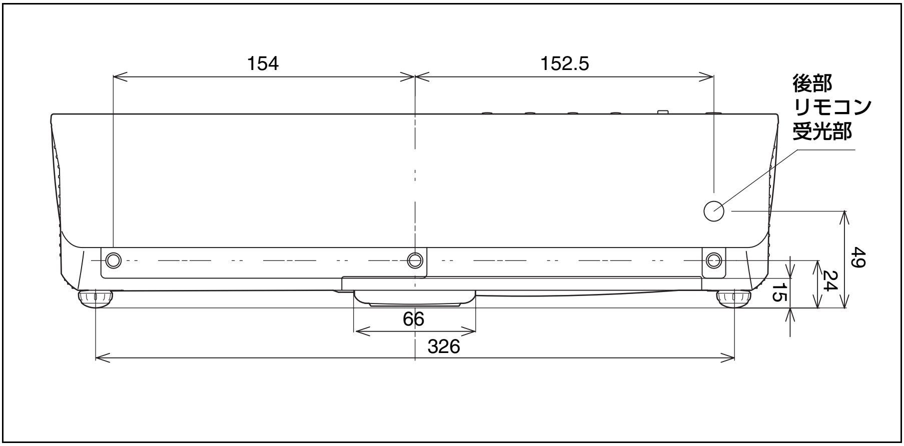
側面



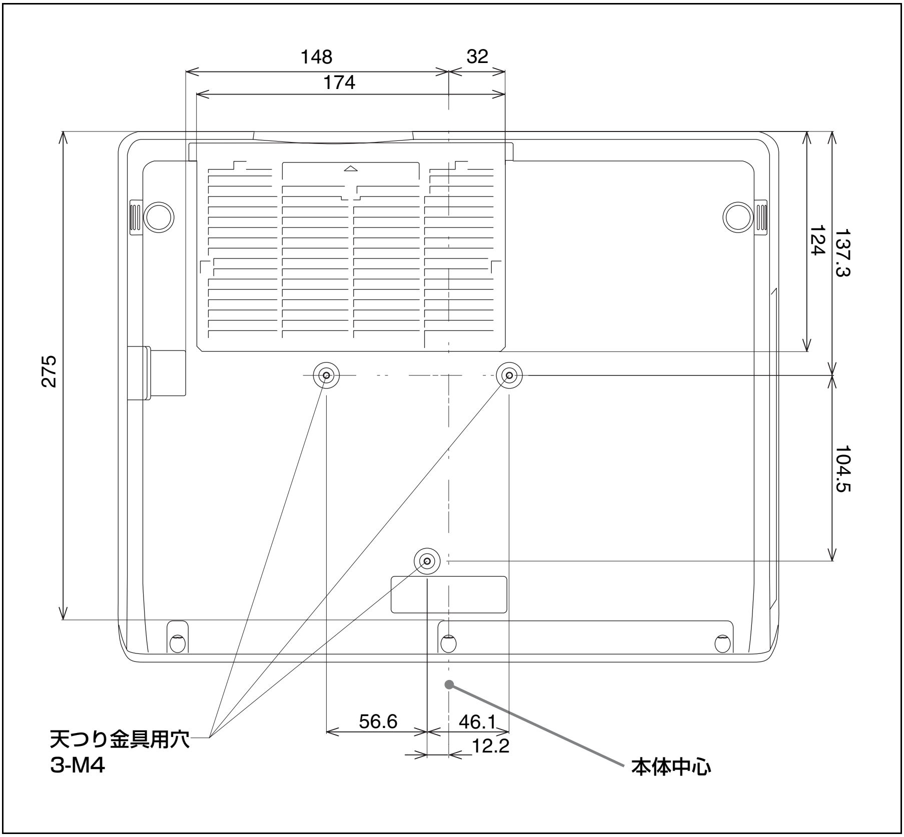
レンズ中心
88
190
15.9
1.7
63
61.2
23
9
90
8
48
103
260
16
天つり金具
取り付け面
VPL-CX125/CX155/
CW125 のみ
172
78
18
17
NETWORK
INPUT C
RGB
INPUT A
AUDIO
RGB
INPUT B
AUDIO
MONITOR
OUTPUT
AUDIO
S VIDEO
VIDEO
VIDEO IN
AUDIO
RS-232C
REMOTE
46
40
39
45
22.5
18
20
23
26
20
40
30
121
35
160
31
211
盗難防止用ロック穴
盗難防止用バー部　断面図
6
17
12
Ø4
12
21

単位：mm

後面


154
152.5
後部
リモコン
受光部
49
24
15
66
326

底面


148
32
174
124
137.3
275
104.5
56.6
46.1
12.2
天つり金具用穴
3-M4
本体中心

単位：mm

索引

五十音順

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

アルファベット順

I

S

V

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1